

動画ディスプレイ

操作ガイド

DP-V1830 Firmware ver. 1.1

DP-V2730 Firmware ver. 1.0

ご使用の前に、必ず本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、本書はいつでもご覧になれるよう、大切に保管してください。

使用説明書

日本語

ディスプレイ製品の使用説明書について

- 製品には、使用説明書またはセットアップガイドが付属しています。製品をご使用になる前に、「安全上のご注意」と「取り扱い上のご注意」を必ずお読みください。
- 操作ガイド(本書)では、表紙に記載しているバージョンのファームウェアで利用できる機能や設定方法について説明しています。

目次

はじめに.....	3	ネットワーク/IMD設定	68
本書について	3	システム設定	70
商標	3	シグナルインフォメーション	76
操作のしかた	4	システムインフォメーション	76
OSDメニューの基本操作	4	対応信号フォーマット.....	77
映像全体を見ながら画質を調整する	5	画像・フレーム表示.....	91
調整値を一時保存する		エラーメッセージ	94
(アンカーポイントの設定).....	7	こんなときは	97
ズーム表示を調整する.....	7	本機で使用しているソフトウェアについて ...	99
入力信号に応じて自動的に画質を切り換える.....	8	索引	103
画像の表示エリアを変更する	8		
エクスポート／インポートする.....	9		
日時を設定する	11		
文字を入力する	12		
ファンクション(F)ボタンを使う	13		
チャンネル(CH)ボタンを使う	14		
信号情報や本機の状態を確認する.....	16		
外部機器を使って本機を操作する			
[GPI端子]	16		
外部機器を使って本機を操作する			
[LAN端子]	17		
Webブラウザを使って本機を			
リモート操作する	18		
OSDメニュー	21		
画質設定.....	21		
チャンネル設定	36		
ディスプレイ設定.....	41		
オーディオ設定	44		
マーカー設定	45		
ファンクション設定.....	52		
ピクチャーファンクション設定.....	64		

ご購入時、本機のOSD(On Screen Display)メニューや表示されるメッセージは、英語表記になっています。必要に応じて、OSDメニューで言語を切り換えてください(70)。

本書について

本書では、DP-V1830の画面を使用しています。また、見やすくするために加工した画面を一部、使用しています。

本文中の表記

📖：参照ページを示します。

🔍 参考：参考情報を示します。

⚠️ ご注意：守っていただきたいことを示します。

📌 メモ：知っておいていただきたいことを示します。

MENU ➡ [画質設定] ➡ [ピクチャーモード]：

MENUボタンを押し、OSDメニューの階層を移動して項目を選ぶことを示します。

- 次のマークは、製品による機能や設定内容などの違いを示します。

V1830 V2730：いずれかの製品に該当する説明です。

商標

- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- VESAは、Video Electronics Standards Associationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Safariは米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- Google、Google Chromeは、Google LLCの商標または登録商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

操作のしかた

- 4 本機のボタンやジョグダイヤルで、画質調整や入力信号の設定を行います。また、CH(チャンネル)ボタンやF(ファンクション)ボタンには、よく使う設定や機能を登録することができます。
他の機能の設定などによって設定できない項目は、非表示またはグレイアウトします。

OSDメニューの基本操作

本機の設定は、OSDメニューで変更します。



- 1 OSDメニューを開く
 - MENUボタンを押します。
- 2 メインメニューを選択する
 - ジョグダイヤルでメインメニュー項目を選択し、押して決定します。
- 3 サブメニューを選択する
 - ジョグダイヤルでサブメニュー項目を選択し、押して決定します。

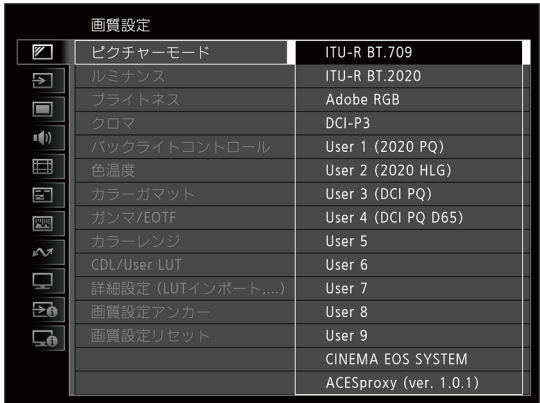
メインメニュー		サブメニュー	設定内容
画質設定			
	ピクチャーモード		ITU-R BT.709
	ルミナンス		● ——— ● 100.0
	ブライトネス		* ——— * 0
	クロマ		● ——— ● 1000
	バックライトコントロール		ローカルタイミング 弱
	色温度		D65
	カラーガマット		ITU-R BT.709
	ガンマ/EOTF		2.2
	カラーレンジ		オート (リミテッド)
	CDL/User LUT		オフ
詳細設定 (LUTインポート,...)			
画質設定アンカー			
画質設定リセット			

4 設定内容を選択する

- ジョグダイヤルで設定内容を選択し、押して決定します。サブメニュー項目の選択画面に戻ります。

5 メニューを終了する

- MENUボタンを押すと、メインメニュー項目の選択画面に戻ります。もう一度、MENUボタンを押すと、メニュー画面を閉じます。



5

① メモ

- 画質を調整するときには、本機の輝度を安定させるためにウォームアップが必要です。電源を入れて、10分以上経ってから実施してください。
- OSDメニューとスライドバーは約1分間、ファンクションボタンガイドは約10秒間何も操作をしないと自動的に消えます。
- 設定できない項目は、グレー表示になります。
- 次の機能は、画質を調整後にRESETボタンを押すと、工場出荷時の設定またはアンカーポイント(7)に戻すことができます。
 - [ルミナンス]、[ブライトネス]、[クロマ]、[HDRレンジ]、[Power]、[Saturation]、[Offset]、[Slope]
- [ピクチャーモード] ➡ [User 1-9]のとき：キャリブレーションを実行した場合は、画質を調整中にRESETボタンを押すと、キャリブレーション後の設定内容に戻ります。

映像全体を見ながら画質を調整する

OSDメニューを表示しているときに、画面下部にスライドバーだけを表示させ、映像全体を見ながら画質を調整できます。

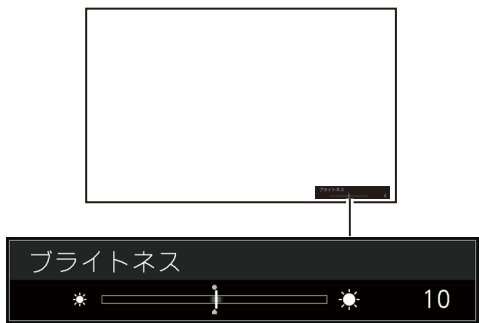
1 設定内容にフォーカスがあるときに、ジョグダイヤルを押す

- スライドバーが画面の下部に表示されます。

2 スライドバーを目安にジョグダイヤルで調整する

3 調整が終了したら、ジョグダイヤルを押す

- 元のOSDメニュー画面に戻ります。



色温度の詳細設定(ゲイン、バイアス)

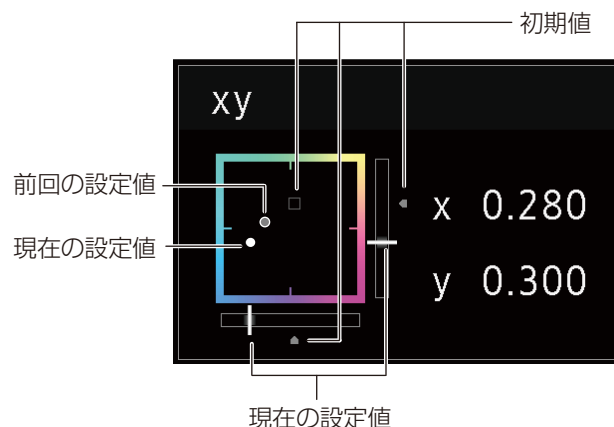
[ゲイン]または[バイアス]の調整画面が表示されているときに、RGBをまとめて、または個別に調整できます。

- 1 **[MENU] ➡ [画質設定] ➡ [色温度]**を選択する
 - [ゲインR]、[ゲインG]、[ゲインB]、[バイアスR]、[バイアスG]、[バイアスB]を、ジョグダイヤル(◀▶)で個別に設定できます。
- 2 いずれかを選択する
 - [ゲイン]または[バイアス]の設定画面が表示されます。
- 3 スライダー画面右上のガイドをジョグダイヤル(▲▼)で切り換える
 - [RGB]、[R]、[G]、[B]と表示が切り換わります。[RGB]を選択すると、RGBをまとめて調整できます。
- 4 調整が終了したら、ジョグダイヤルを押す
 - 元のOSDメニュー画面に戻ります。



色温度の詳細設定(xy値)

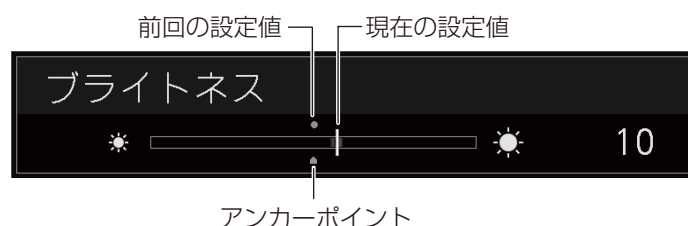
- 1 **[MENU] ➡ [画質設定] ➡ [色温度]**を選択する
- 2 **[カスタム(xy)]**を選択する
 - [x]、[y]を、ジョグダイヤル(◀▶)で個別に設定できます。
- 3 **[x]または[y]**を選択する
 - カラーマップが表示されます。
- 4 [x]はジョグダイヤル(◀▶)、[y]はジョグダイヤル(▲▼)で調整する
 - 設定した値がカラーマップ上に(○)で表示されます。
- 5 調整が終了したら、ジョグダイヤルを押す
 - 元のOSDメニュー画面に戻ります。



調整値を一時保存する(アンカーポイントの設定)

[ルミナンス]、[ブライトネス]、[クロマ]、[HDRレンジ]の調整値を一時的に保存できます。CDL調整時のアンカーポイントの設定は 27 をご覧ください。

- 1 **[MENU]** ➡ **[画質設定]** ➡ **[画質設定アンカー]**を選択する
- 2 ジョグダイヤルを押して、確認画面が表示されたら、**[OK]**を選択する
 - 調整値が保存され、アンカーポイントが設定されます。
- 3 再度、画質を調整後、本機の**RESET**ボタンを押す
 - 各機能のアンカーポイントに戻ります。



① メモ

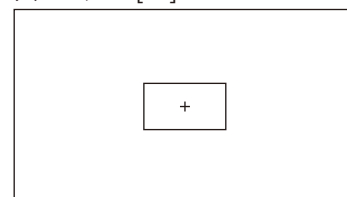
- **[画質設定]** ➡ **[画質設定リセット]**または**[システム設定]** ➡ **[全設定リセット]**を実行すると、アンカーポイントはリセットされ、工場出荷時の値に戻ります。

ズーム表示を調整する(42)

ズームの表示位置を変更したり、ズーム倍率(2倍、4倍、8倍)を選択できます。

- 1 **[MENU]** ➡ **[ディスプレイ設定]** ➡ **[ズーム]**を選択する
- 2 **[ズームプリセット]**を選択する
 - ズーム表示のプリセットを選択します。
- 3 **[ポジション]**を選択する
 - ズーム調整画面が表示されます。
 - 表示位置を移動する：ジョグダイヤル(▲▼◀▶ または回転)を動かす
 - 中央に戻す：RESETボタンを押す
- 4 調整が終了したら、ジョグダイヤルを押す
 - 元のOSDメニュー画面に戻ります。

ズーム 2 [x4]



① メモ

- 画像がズーム表示中、OSDメニューを閉じているとき
 - ジョグダイヤルを押すことで倍率を設定できます。
 - ジョグダイヤル(▲▼◀▶ または回転)を動かすことで表示位置を移動できます。
 - CHボタンで、次の機能が設定できます。
 - CH1：ズームの倍率の選択、CH2：ズームプリセット(ズーム1/ズーム2/ズーム3)の切換、CH3：ズームオフ

入力信号に応じて自動的に画質を切り換える

本機では、映像の解像度やメタデータに応じて、画質を自動で切り換えることができます。

8 【ピクチャーモード】を自動で切り換える (📖 39)

- 1 **[MENU]** ➡ **[チャンネル設定]** ➡ **[セレクトチャンネル]** を選択する
 - チャンネルを選択します。
- 2 **[MENU]** ➡ **[チャンネル設定]** ➡ **[ピクチャーモード]** ➡ **[タイプ]** を選択する
- 3 ジョグダイヤルでタイプを選択する

映像の解像度(4K/2K)ごとに切り換える場合
[4K/2K]を選択します。

映像の解像度(4K/2K)またはメタデータに応じて切り換える場合(SDI)
[オート]を選択します。
- 4 ピクチャーモードを選択する

映像のメタデータに応じて画質の設定を切り換える(HDMI) (📖 30)

- 1 **[MENU]** ➡ **[画質設定]** ➡ **[ピクチャーモード]** ➡ **[User 1]～[User 9]** のいずれかを選択する
- 2 **[MENU]** ➡ **[画質設定]** ➡ **[詳細設定]** ➡ **[HDMIリンク]** ➡ **[自動設定]** を選択する
 - [オン]を選択します。
 - 設定できる内容は[HDMIリンク] (📖 30)をご覧ください。

i メモ

- 映像の解像度(4K/2K)またはSDIメタデータに応じた画質の自動切替が設定されているとき、メニュー画面の右上に、選択されている対象(4K、2Kなど)を示す情報が表示されます。

Resolution: 4K

画像の表示エリアを変更する

「4096×2160」の映像を入力した場合、映像の左右をトリミングして3840×2160の領域を表示できます。このとき、トリミングする位置は左右に調整できます。

- 1 **[MENU]** ➡ **[ディスプレイ設定]** ➡ **[スクリーンスケーリング]** を選択する
 - [Native Input Resolution] または [200%] を選択します。
- 2 OSDメニューを閉じているときに、ジョグダイヤル(◀▶)を押す
 - 左／右側にずれます。

エクスポート／インポートする

3D LUTやCDLの調整値、OSDメニューの設定内容をエクスポート／インポートできます。

LUTをインポートする(📖28)

- 1 LUTファイルを保存したUSBメモリーを、本機のUSB端子に接続する
- 2 **[MENU]** ➡ **[画質設定]** ➡ **[詳細設定]** ➡ **[LUTインポート]**を選択する
- 3 インポートするLUTファイルを選択する
 - [ファイル名]の箇所に、ルートフォルダー内の拡張子「.clut」と「.cube」を検索して表示します。
- 4 LUTを保存するLUT番号を選択する
- 5 **[実行]**を選択する
 - 確認画面が表示されたら**[OK]**を選択します。インポートを開始します。

📌 メモ

- [LUT]のインポートは、**[画質設定]** ➡ **[CDL/User LUT]** ➡ **[LUTインポート]**からも設定できます。
- LUTのファイル(.clut形式)は、キャノンディスプレイ独自のものです。ファイルフォーマットや作成のしかたなどについては、キャノンのホームページでご確認ください。
- LUTのインポートファイルは、最大1000個まで認識します。
- インポートしたLUTは消去できます。LUT名を変えることもできます(📖28)。

LUTファイル(cube形式)の構成は、次のとおりです。

■ LUTファイル名

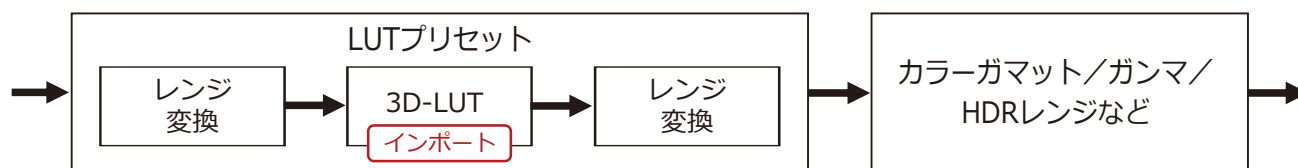
使用可能な文字種	半角英数字のみ
使用可能な文字数	最大 64 文字まで(拡張子を含む)
拡張子	.cube

■ LUTファイルの書式

TITLE	使用可能な文字は、ASCII 24 文字です。 * ディスプレイの OSD メニューに、選択項目として表示されます。(最大24文字)
LUT_3D_SIZE	9/17/33/65のいずれかを指定します。
Table Data	Red、Green、Blueを指定します。
LUT_1D_SIZE DOMAIN_MIN DOMAIN_MAX LUT_1D_INPUT_RANGE LUT_3D_INPUT_RANGE	非対応です。

- 改行コードは、「CR(carriage return)」、「LF(line feed)」、「CR+LF」のいずれかをご使用ください。
- 文字コードは、「Shift-JIS」、「EUC-JP」、「UTF-8(BOM 有／無)」のいずれかをご使用ください。

■ディスプレイの画像処理とユーザー LUT の概念図



OSDメニューの設定内容をエクスポート／インポートする(72)

1 [MENU] ➡ [システム設定] ➡ [エクスポート／インポート]を選択する

2 [エクスポート]または[インポート]を選択する

エクスポートの場合

① [ターゲット]を[USB]／[User 1-3]／[LAN]から選択する

エクスポート先は次のとおりです。

[USB]：USBメモリー

[User 1]～[User 3]：ディスプレイ本体内のメモリー

[LAN]：LAN接続したディスプレイ

② [USB]を選択時：[ファイル名]を選択する

- 工場出荷時の初期値は[dinfo_dpv****.dat]（****：製品名の数字）です。USBメモリーにエクスポートするファイル名は半角英数記号16文字以内で変更できます。

インポートの場合

① [ターゲット]を[USB]／[User 1]～[User 3]から選択する

インポートするファイルの保存先を指定します。

② [USB]を選択時、[ファイル名]を選択する

③ [設定種別]から[すべて]またはメインメニュー名を選択する

3 [実行]を選択する

- 確認画面が表示されたら[OK]を選択します。エクスポート／インポートを開始します。

① メモ

- [User 1]～[User 3]にエクスポートすると、[システム設定]の[パワーオン設定]で、起動時の設定状態を[User 1]～[User 3]から選択できます(73)。

CDLの調整値をエクスポート／インポートする(📖26)

- 1 **[MENU]** ➡ **[画質設定]** ➡ **[CDL/User LUT]**を選択する
- 2 **[CDL 1-8]**を選択する
- 3 **[詳細設定]** ➡ **[CDLエクスポート]**または**[CDLインポート]**を選択する

エクスポートの場合

- ① **[CDLプリセット]**を選択する
- ② ファイル形式「.ccc」または「.cdl」を選択する

インポートの場合

- ① **[ファイル名]**を選択する
- ② **[CDLプリセット]**を選択する

- 4 **[実行]**を選択する
 - 確認画面が表示されたら**[OK]**を選択します。エクスポート／インポートを開始します。

📌 メモ

- エクスポート時のファイル名は、「YYYYMMDDhhmmss_プリセット名.ccc (cdl)」で自動的に保存されます。
- CDLのインポートファイルは、最大1000個まで認識します。

日時を設定する(📖70)

日時の設定のしかたを説明します。本機は、約20日間電源コードが接続されないと、日時がリセットされます。

- 1 **[MENU]** ➡ **[システム設定]** ➡ **[日時]**を選択する
 - 日時を入力する画面が表示されます。
- 2 **日時を設定する**
 - ジョグダイヤルでフォーカスを移動させたり、数値を選択します。年／月／日／時／分すべてを入力するまで、繰り返します。
- 3 **すべての入力終了したら、ジョグダイヤルを押す**
 - フォーカスが**[OK]**に移動します。
- 4 **内容を確認し、正しければジョグダイヤルを押す**

📌 参考

- **[キャンセル]**を選択、または**[OK]**を選択する前に**[MENU]**ボタンを押すと、設定値をリセットし1つ前の画面に戻ります。

文字を入力する

文字の入力のしかたを説明します。

1 文字入力画面が表示されたら、入力したい場所をジョグダイヤル(◀▶)で選択する

2 ジョグダイヤル(▲▼ または回転)で文字を選択する

- 入力できる文字は次のとおりです。▲▼ を押し続けると順番に表示されます。

英数(半角): A ~ Z, a ~ z, 0 ~ 9

記号(半角): , . : ; ' ` - + / = % & ! ? # _ | \$ ^ ~ @ { } [] < > () スペース

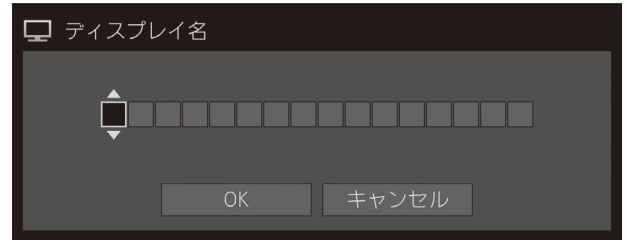
- 入力できない文字は、自動でスキップします。

3 入力したい内容が終了するまで、手順1、2を繰り返す

4 すべての入力が終了したら、ジョグダイヤルを押す

- フォーカスが[OK]に移動します。

5 内容を確認し、正しければジョグダイヤルを押す



参考

- [キャンセル]を選択、または[OK]を選択する前にMENUボタンを押すと、設定値をリセットし1つ前の画面に戻ります。
- 本機のRESETボタンを押すと、フォーカスされている文字を消去できます。

ファンクション(F)ボタンを使う

本機のFボタンに機能を登録し、ワンタッチで実行できます。Fボタンには、通常モードとALTモードごとに、異なる機能を割り当てることができます。

- 1 **[MENU]** ➡ **[システム設定]** ➡ **[ファンクション／チャンネルボタン]** ➡ **[ファンクションボタン]**または**[ファンクションボタン(ALT)]**を選択する
 - ボタンの選択画面が表示されます。
- 2 ボタン名を選択し、ジョグダイヤルを押す
- 3 登録したい機能を選択する
 - 設定できる機能は「ディスプレイのFボタンに登録できる機能(74)」をご覧ください。
- 4 ジョグダイヤルを押す
 - 設定内容が決定されます。

工場出荷時、本機の各Fボタンには、次の内容が登録されています。

Fボタン	通常モード時	ALTモード時
F1	ピクチャーモード	CDL/User LUT
F2	ブライトネス	CDL SOP/SAT
F3	TC/ALM	マルチ情報表示
F4	WFM/VEC	1入力Dual View
F5	ヒストグラム/フレーム輝度	フォルスカラー
F6	色度図/ピクセル値チェック	レンジチェック
F7	ズームプリセット	2020 色域外表示
F8	音量	比較表示

参考

- Fボタンを長押しすると、機能の選択画面が表示され、登録したい機能を設定できます。
 - 本機のFボタンに登録されている機能を確認できます。
- [MENU]** ➡ **[システム設定]** ➡ **[OSD設定]** ➡ **[ファンクションボタンガイド]**メニューを開き、**[オン]**を選択します。OSD非表示中にジョグダイヤルを押す／動かす(▲▼◀▶または回転)と、機能一覧が表示されます。機能一覧から機能を選び、ジョグダイヤルを押す／動かす(▶)と、詳細な設定画面が表示される、または機能が実行されます。
- また、機能一覧を表示中に ◀ を押すと、通常モードとALTモードが切り替わります。


チャンネル(CH)ボタンを使う

本機のCHボタンにチャンネル(入力信号に関する各種設定)を登録し、ワンタッチでチャンネルを切り換えることができます。

14

- 1 **[MENU] ● [システム設定] ● [ファンクション／チャンネルボタン] ● [チャンネルボタン]**を選択する
 - ボタンの選択画面が表示されます。
- 2 ボタン名を選択し、ジョグダイヤルを押す
- 3 登録したいチャンネルを選択する
 - 設定できる内容は[チャンネル設定] (📖36)をご覧ください。
- 4 ジョグダイヤルを押す
 - 設定内容が決定されます。

工場出荷時、本機各CHボタンと各チャンネルには、次の内容が登録されています。

項目		CH別初期値					
		CH1	CH2	CH3	CH4	CH5	CH6 ~
入力設定		12-3G/ HD-SDI	HDMI	12-3G/ HD-SDI	12-3G/ HD-SDI	Multi View	未設定
入力信号選択		オート				—	オート
Image Division		オート				Multi View (Quad)	オート
Screen A ~ D		—				SDI Input A ~ D	—
Link Order		オート					
フォーマット		オート					
音声端子		オート				SDI Input A	オート
スイッチア ウト	出力信号選択	オート(有償アップグレードの機能です)					
	出力信号 マーカー	グリーン(同上)					
チャンネル名		(空欄)					
ピクチャーモード  タイプ		ノーマル					
ピクチャーモード		ITU-R BT.709		User 2 (2020 HLG)	User 1 (2020 PQ)	User 2 (2020 HLG)	ITU-R BT.709
Resolution 2K		ITU-R BT.709					
Payload	UHD/PQ	User 1(PQ)					
	UHD/HLG	User 2(HLG)					
	UHD	ITU-R BT.2020					
	709/PQ	—					
	709/HLG	—					
	709	ITU-R BT.709					
	VANC	—					
	UNKNOWN	—					
Camera	CINEMA EOS SYSTEM	CINEMA EOS SYSTEM					
	ARRI	User 6					
	VARICAM	User 7					
マーカープリセット		オフ					
1入力 DualView		オフ	オフ	オート	オート	—	オフ
セパレーター		オフ					

メモ




- CHボタンを長押しすると、チャンネルリストが表示され、チャンネルを選択できます。

信号情報や本機の状態を確認する

本機にはバナーを表示する機能があります。

- 1 OSDメニューを閉じているときに、ジョグダイヤルを押す
 - バナーにチャンネル名や信号情報、本機の状態が表示されます。6秒後に自動的に消えます。

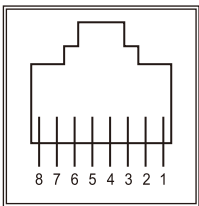
メモ

- バナーの表示方法を設定できます。([バナー]  71)
- 入力信号の状態を監視できます。([シグナルモニタリング]  59)
- 詳細な信号情報を確認したい場合には、[シグナルインフォメーション] ( 76)をご覧ください。
- 入力信号が同期するまでは[同期検出中]というバナーが表示されます。



外部機器を使って本機を操作する [GPI端子]

GPI端子に接続した外部機器から操作して、各ピンに登録した機能を実行できます。外部機器からの操作は、本機の電源が入っているときにいきます。

GPI端子のピン配列

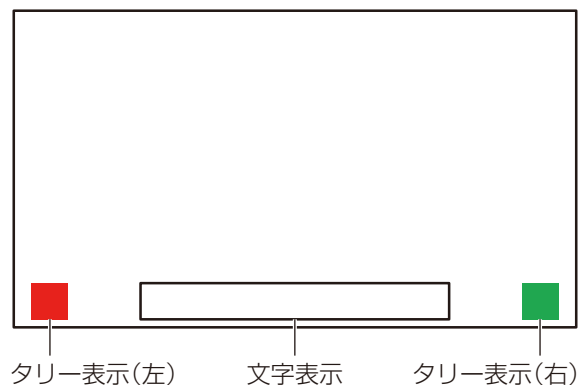


ピン番号	信号	工場出荷時の設定内容	
1	Pin1	CH1	
2	Pin2	CH2	
3	Pin3	CH3	
4	Pin4	タイムコード	
5	Pin5	タリー グリーン	タリーは、画面上部に表示されます。
6	Pin6	タリー レッド	
7	Pin7	電源オン	
8	Pin8 (GND)	—	

- 1 外部制御機器をGPI端子に接続する
- 2  ➡ [システム設定] ➡ [GPI]を選択する
 - ピンの選択画面が表示されます。
- 3 ピン番号を選択し、ジョグダイヤルを押す
- 4 登録したい機能を選択する
 - 設定できる機能はOSDメニューの[システム設定] ( 70)をご覧ください。
- 5 ジョグダイヤルを押す
 - 設定内容が決定されます。

外部機器を使って本機を操作する [LAN端子]

本機は、Television Systems Ltd社の「TSL UMD Protocol Ver. 5.0」に対応しています。LAN端子に接続した外部機器から操作して、画面上に文字とタリーを表示できます。タリーは、左右に2カ所あります。文字は、16文字まで表示できます。



- 1 外部制御機器をLAN端子に接続する
- 2 TSLプロトコルの設定で、[SCREEN]と[INDEX]を[0x0000]にする
- 3 **[MENU]** ➡ **[ネットワーク/IMD設定]** ➡ **[インモニターディスプレイ(IMD)]**を選択する
- 4 **[コントロール]** ➡ **[TSL Ver. 5.00]**を選択する
 - 外部制御機器からの操作が可能になり、文字とタリーを表示できる状態になります。
- 5 **[ポジション]** ➡ **[上]**または**[下]**を選択する
 - 文字とタリーの表示位置を設定します。

i メモ

- [Multi View (Dual)]または[Multi View (Quad)]表示時、[INDEX]の設定を[0x0001]～[0x0004]にしてください。
- 制御するポート番号は、「45000」固定です。
- [インモニターディスプレイ(IMD)]では、本機でユーザーが指定した文字を画面に表示することもできます。(69)
- 表示する文字列にはUnicode文字を使用できますが、文字によっては正しく表示されないことがあります。

Webブラウザーを使って本機をリモート操作する

LAN端子に接続したコンピューター端末などのWebブラウザーを使って、本機をリモートで操作します。ネットワーク接続した機器から、画質の設定を変更したり、チャンネルを切り換えたりすることができます。

18 本機能は、下記のWebブラウザーを使用して動作を確認しています。

- Apple社のSafari
- Google社のGoogle Chrome

* すべての対応OS とWebブラウザーのバージョンで動作を保証するものではありません。

! ご注意

- 本機能を使用するときは、ユーザー IDとパスワードの初期設定を変更してください。

i メモ

- 1つの端末からのみアクセスが可能です。
- Webブラウザーの複数のタブでページを開くと、正しく動作しないことがあります。
- Webブラウザーを使ってリモート操作中に本体を操作すると、ネットワーク接続が中断されることがあります。
- ネットワーク環境や通信状態によっては、映像表示や各種設定などに遅延が発生することがあります。
- IPアドレスは、[システムインフォメーション]画面で確認できます。
- 操作画面は、英語表記のみです。

1 外部制御機器とネットワーク接続をする

2 [ネットワーク/IMD設定] [Web] を選択する

3 [コントロール] [オン] を選択する

4 [ユーザー ID]と[パスワード]を設定する(📖 68)

- [ユーザーID]: ユーザーIDを入力します。半角英数字記号16文字以内で設定します。
[パスワード]: パスワードを入力します。半角英数字記号8文字以上、16文字以内で設定します。
入力できる文字は、次のとおりです。
英数(半角): A～Z、a～z、0～9
記号(半角): _、-

5 ネットワーク接続をした機器でWebブラウザーを起動する

6 アドレスバーに本機のIPアドレスを入力する

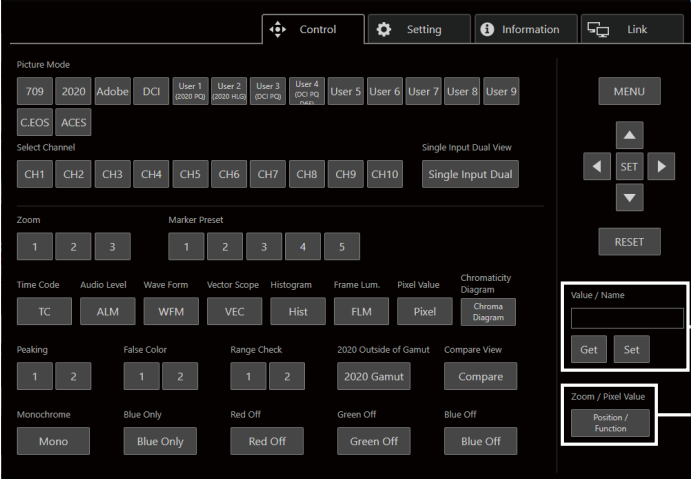
- Webブラウザー上に、リモート操作画面が表示されます。
- ベーシック認証画面が表示されたら、ユーザー IDとパスワードを入力します。

7 操作が終了したら、Webブラウザーを閉じる

■ 操作画面

[Control] 画面

ピクチャーモードやチャンネル、各種マーカーの表示などを設定できます。



[Value / Name]*

文字や数値を入力します。

[Get]：入力データを取得する

[Set]：データを入力画面に反映する

[Zoom / Pixel Value]

[ズーム]の表示位置または[ピクセル値チェック]のピクセル位置を設定します。

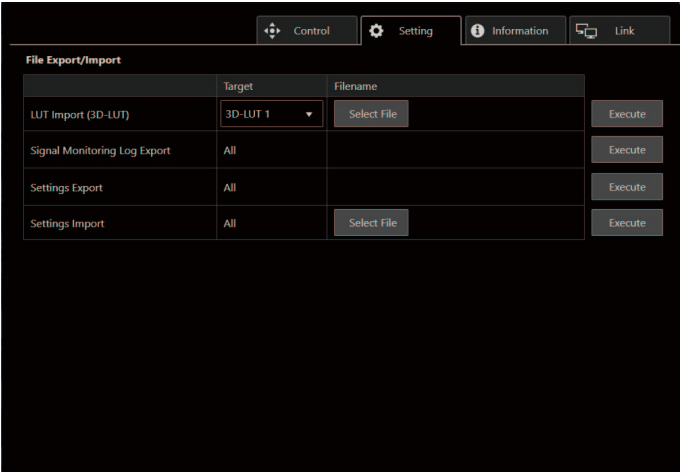
[Position / Function]をクリックすると、Fボタンを選択できる画面が表示されます。

*[Value]

- ・ 小数点のある設定値の場合、小数点が表示されません。
- ・ 設定項目によっては、メニュー表示と異なる数値が表示される場合があります。

[Setting] 画面

LUTのインポートや、[シグナルモニタリング]のエラー履歴のエクスポート、本機の設定のインポート/エクスポートの操作ができます。



[LUT Import (3D-LUT)]

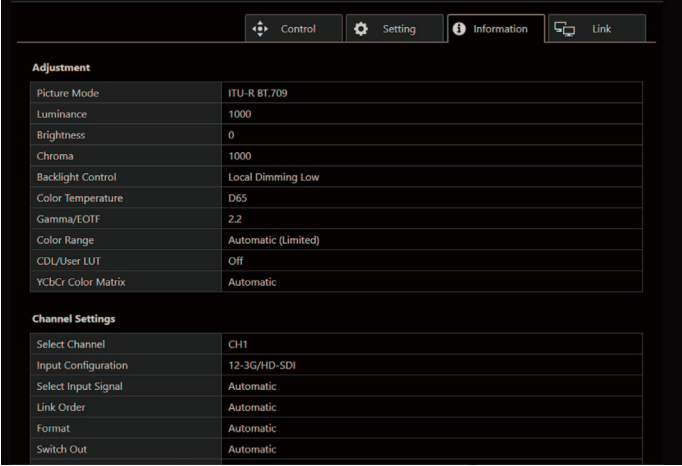
LUTをインポートします。

[Signal Monitoring Log Export]

[シグナルモニタリング]のエラー履歴をエクスポートします。

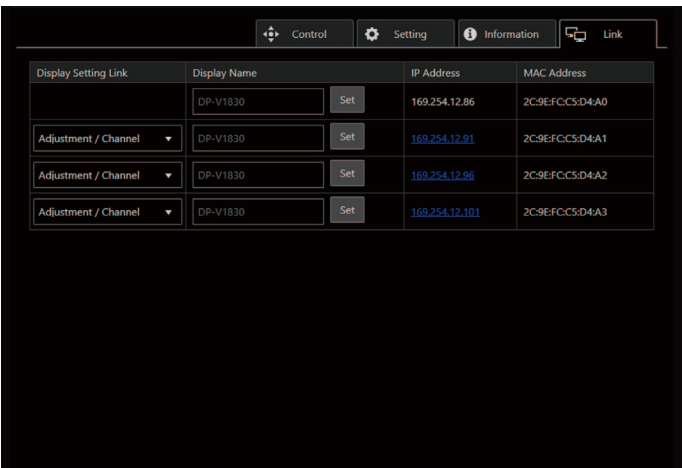
[Information]画面

[画質設定]と[チャンネル設定]の各設定内容、[シグナルインフォメーション]、[システムインフォメーション]の情報を表示します。



[Link]画面


本機とLAN接続されたディスプレイの一覧表示や、[ディスプレイ設定連動]の設定、ディスプレイ名の変更ができます。



画質設定

画質を調整するときに使うメニューです。工場出荷時の設定内容は、[ピクチャーモード]によって異なります(33)。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ピクチャーモード	ITU-R BT.709 ITU-R BT.2020 Adobe RGB DCI-P3 User 1 (2020 PQ) User 2 (2020 HLG) User 3 (DCI PQ) User 4 (DCI PQ D65) User 5 ~ User 9 CINEMA EOS SYSTEM ACESproxy(ver. 1.0.1)	<p>プリセットモードを選択します。</p> <p>[ITU-R BT.709]、[ITU-R BT.2020]、[Adobe RGB]、[DCI-P3]：各規格の輝度、色温度、ガンマ/EOTF、3原色色度点の色域に設定されたモードです。</p> <p>[User 1~9] (User 1 (2020 PQ)、User 2 (2020 HLG)、User 3 (DCI PQ)、User 4 (DCI PQ D65)、User 5 ~ User 9)：[画質設定]にある各項目をそれぞれ設定できるモードです。モード名は半角英数記号24文字以内で変更できます(30)。</p> <p>[CINEMA EOS SYSTEM]：CINEMA EOS SYSTEMカメラで撮影した映像を表示するときに最適なモードです。カメラリンク機能で、画質設定を自動的に切り換えます([自動画質設定(CINEMA EOS)] 60)。</p> <p>[ACESproxy(ver. 1.0.1)]：ACESproxyの映像を、ガンマ/EOTF、色域を最適にして表示するモードです。</p> <p>• [ACESproxy(ver. 1.0.1)]は、[チャンネル設定] ➤ [ピクチャーモード] ➤ [タイプ]が[ノーマル]以外の場合は、設定できません。</p>
ルミナンス	0 ~ 1000.0	<p>ピーク輝度を調整します(0.1刻み)。</p> <p>• ルミナンスの値は調整時の目安となるもので、絶対値を保証するものではありません。</p>
ブライトネス	-500 ~ 500(0)	画像の黒レベルを調整します。(1刻み)
クロマ	0 ~ 2000(1000)	<p>画像の彩度(色の濃さ)を調整します。(1刻み)</p> <p>• 次のいずれかの場合、[クロマ]は設定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> - [CDL/User LUT] ➤ [オフ]以外するとき - [カラーガマット]が[Cinema Gamut to XXX]、[S-GamutXXX]のいずれかのとき - [ガンマ/EOTF]が[Canon Log]、[Canon Log 2]、[Canon Log 3]のいずれかのとき - [2020コンスタントルミナンス]が[コンスタント]のとき - [フォーマット]の信号方式がICtCpまたはXYZのとき - [チャンネル設定] ➤ [入力設定] ➤ [Multi View]のとき - [ピクチャーファンクション設定] ➤ [比較表示] ➤ [表示]が[オン]のとき - V2730 [クロマアップ]が[オン]のとき

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
バックライトコントロール	ローカルディミング オート / 強 / 弱、オフ	<p>バックライトの制御方法を切り換えます。</p> <p>バックライトの発光量をエリアごとに制御する技術です。表示するコンテンツに合わせて、画像の明るい部分はバックライトを明るくし、暗い部分はバックライトを暗くします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [オート]: HDR映像の確認に適したモードです。 [強]: 明るい部分が多い画像の確認に適したモードです。 [弱]: SDR映像の確認に適したモードです。 • [チャンネル設定] ➡ [ピクチャーモード] ➡ [タイプ] ➡ [Quad]または[Dual]の場合、Screen Aの設定値に固定されます。
色温度	D93、D65、 D65 Custom、D61、 D60、D56、D50、 DCI-P3 カスタム(xy)、オフ <ul style="list-style-type: none"> • プリセットを選択時 ゲイン/バイアス設定 対象：共通、個別 ゲインR/G/B： 0～1023 バイアスR/G/B： -500～500(0) • カスタム(xy)を選択時 x：0.260～0.360 y：0.260～0.360 	<p>色温度を設定します。( 6)</p> <p>[D93]、[D65]、[D61]、[D60]、[D56]、[D50]、[DCI-P3]: プリセットの色温度を選択します。</p> <p>[D65 Custom]: 本機と表示特性の異なるディスプレイとの色調整用プリセットです。D65を基準にして、ゲインとバイアスを調整します。</p> <p>[ゲイン/バイアス設定対象]: [共通]に設定したすべてのピクチャーモードに、ゲイン/バイアスの調整値が反映されます。[個別]に設定すると、設定されたピクチャーモードに調整値が反映されます。</p> <p>[ゲインR/G/B]、[バイアスR/G/B]: プリセットの色温度を調整します。(1刻み)</p> <p>[カスタム(xy)]: CIE x, y で調整します。(0.001刻み)</p> <ul style="list-style-type: none"> • [カスタム(xy)]と、[ゲインR/G/B]または[バイアスR/G/B]は同時に選択できません。 • [ゲインR/G/B]または[バイアスR/G/B]を調整している場合、プリセットの色温度モードに[*]が表示されます。 • 色度座標(x, y)の値は調整時の目安となるもので、絶対値を保証するものではありません。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)
カラーガマット	<p>色域を設定します。</p> <p>[ピクチャーモード] ➤ [User 1–9]または[CINEMA EOS SYSTEM]のとき</p> <p>[ITU-R BT.709]、[ITU-R BT.2020]、 [Adobe RGB]、[DCI-P3]：各基準に準拠した色域です。 [Native]：本機で表現可能な色域です。 [Cinema Gamut to 709]、[Cinema Gamut to 2020]、 [Cinema Gamut to DCI]：CINEMA EOS SYSTEMカメラで撮影したCinema Gamutの映像をモニタリングするために、色域を変換するモードです。 [S-Gamut3 to 709]、[S-Gamut3 to 2020]、 [S-Gamut3 to DCI]、[S-Gamut3.Cine to 709]、 [S-Gamut3.Cine to 2020]、[S-Gamut3.Cine to DCI]：色域を変換するプリセットモードです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 次の場合、[カラーガマット]は設定できません。 <ul style="list-style-type: none"> [CDL/User LUT] ➤ [ARRI (Rec2100-PQ-1K-100)]、[ARRI (Rec2100-HLG-1K-200)]、[VARICAM (V-Log to V-709)]、[RED (Log3G10 to 709/1886)]、[RED (Log3G10 to 2020/PQ)]、[2020 PQ to 2020 SDR]、[2020 PQ to 709 SDR]、[2020 HLG to 709 HLG]、[2020 HLG to 709 SDR]を選択時 CINEMA EOS SYSTEMの映像を確認するときは「CINEMA EOS SYSTEMとキヤノン製ディスプレイの設定値対応表(62)」をご参照ください。
ガンマ/EOTF	<p>ガンマ/EOTFを設定します。</p> <p>[1.0]、[2.2]、[2.35]、[2.4]、[2.6]、[ITU-R BT.1886]、[Canon Log]、 [Canon Log 2]、[Canon Log 3]：プリセットのガンマを選択します。 [SMPTE ST 2084 (PQ)]、[Hybrid Log-Gamma]、 [Canon Log (HDR)]、[Canon Log 2 (HDR)]、 [Canon Log 3 (HDR)]、[S-Log2 (HDR)]、 [S-Log3 (HDR)]：HDR表示用のガンマ/EOTFを選択します。</p> <p>※[Hybrid Log-Gamma]について Y信号に対して、システムガンマ処理を行う方式(ITU-R BT.2100準拠)です。メニュー画面の[設定内容]に、システムガンマ値が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 次の場合、設定できません。 <ul style="list-style-type: none"> [ピクチャーモード]が[ACESproxy (ver. 1.0.1)]を選択時 [CDL/User LUT] ➤ [ARRI (Rec2100-PQ-1K-100)]、[ARRI (Rec2100-HLG-1K-200)]、[VARICAM (V-Log to V-709)]、[RED (Log3G10 to 709/1886)]、[RED (Log3G10 to 2020/PQ)]、[2020 PQ to 2020 SDR]、[2020 PQ to 709 SDR]、[2020 HLG to 709 SDR]を選択時 CINEMA EOS SYSTEMカメラとARRI社製／パナソニック社製シネマカメラの映像を確認するときは、[カメラリンク] ➤ [自動画質設定]をご参照ください(60)。 [カラーガマット]と選択できる[ガンマ/EOTF]の関係(31)

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
HDRレンジ	HDR表示用ガンマ/EOTFを選択時の表示方法を設定します。	
SMPTE ST 2084 (PQ)	100 ～10000(1000)	[SMPTE ST 2084 (PQ)]が持つ0.005 ～10,000 cd/m ² (nits)のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100 ～4000：100刻み。4000 ～10000：1000刻み)
Hybrid Log-Gamma	100 ～ 1000	[Hybrid Log-Gamma]が持つダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み) 上限値は、[HLG System Gamma]の設定内容に応じて変わります。 ( 29)
Canon Log (HDR)	100 ～ 800	[Canon Log]が持つ0 ～800%のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み)
Canon Log 2 (HDR)	100 ～ 1600	[Canon Log 2]が持つ0 ～1600%のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み)
Canon Log 3 (HDR)	100 ～ 1600	[Canon Log 3]が持つ0 ～1600%のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み)
S-Log2 (HDR)	100 ～1400(1000)	[S-Log]のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み)
S-Log3 (HDR)	100 ～3900(1000)	

設定のしかた

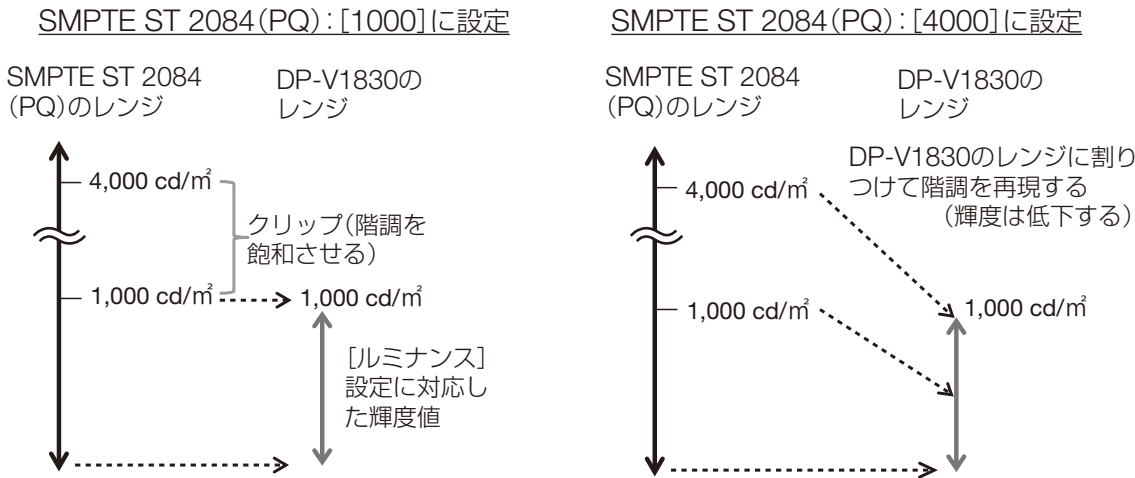
[SMPTE ST 2084(PQ)]を例にとって説明します。

[1000]に設定すると、1,000 cd/m²を超える部分はクリップし、1,000 cd/m²以下を本機のダイナミックレンジに割り付けて表示します。PQ 1,000 cd/m²の映像を表示する場合には、映像のもつダイナミックレンジすべてを確認できます。また、PQ 4,000 cd/m²の映像を表示する場合は、1,000 cd/m²までの映像が確認できます。

[4000]に設定すると、4,000 cd/m²を超える部分はクリップし、4,000 cd/m²以下を本機のダイナミックレンジに割り付けて表示します。PQ 4,000 cd/m²の映像を表示する場合には、見た目の明るさは低下しますが、映像のもつダイナミックレンジすべてを確認できます。

本機の表示輝度は、[ルミナンス]の設定値に対応した明るさになります。

SMPTE ST 2084(PQ)の4,000 cd/m²の信号
(ルミナンス：[1000.0])



サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
カラーレンジ	オート フル SDIフル(4-1019) リミテッド	<p>量子化レンジを設定します。</p> <p>[オート]：信号情報から自動的にレンジを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ピクチャーモード]の[ACESproxy (ver. 1.0.1)]を選択時は、設定できません。 • [オート]時の動作は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> - カメラのメタデータにカラーレンジの設定が含まれている場合は、その設定内容に応じて設定されます。SDI選択時、Payloadに[フルレンジ]のメタデータがある場合は、[SDIフル]が設定されます。 - HDMI選択時は、HDMI信号情報により[フル]または[リミテッド]に自動的に設定されます。 - SDI選択時は、[ピクチャーモード]、[カラーガマット]、[ガンマ/EOTF]の設定内容に応じて設定されます(32)。 - [チャンネル設定] ➤ [入力設定] ➤ [Multi View]選択時は、カメラのメタデータ、SDI Payload、またはHDMI信号情報との連動はしません。 • [フォーマット] ➤ [ICtCp]の場合の動作は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> - [カラーレンジ]の[フル]以外を選択時、[波形モニター]は[カラーレンジ]で設定されている信号のみを表示します。
Output Transform	ITU-R BT.709 ITU-R BT.2020 DCI-P3	<p>[ピクチャーモード] ➤ [ACESproxy (ver. 1.0.1)]のとき</p> <p>[ITU-R BT.709]、[ITU-R BT.2020]、[DCI-P3]：ACESproxyをそれぞれのモードに変換します。</p>
Output Transform Surround	Dim Surround Dark Surround	<p>[ピクチャーモード] ➤ [ACESproxy (ver. 1.0.1)]のとき</p> <p>[Dim Surround]：ACESproxyで規定されているDim Surround処理を有効にします。</p> <p>[Dark Surround]：ACESproxyで規定されているDark Surround処理を有効にします。</p>

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
CDL/User LUT	CDLまたはUser LUTの各種設定をします。	
CDL/User LUT	CDL 1 ～ CDL 8 User LUT 1 ～ User LUT 8 オフ [ピクチャーモード] ➡ [User 1-9]のときのみ ARRI (Rec2100-PQ-1K-100) ARRI (Rec2100-HLG-1K-200) VARICAM (V-Log to V-709) RED (Log3G10 to 709/1886) RED (Log3G10 to 2020/PQ) 2020 PQ to 2020 SDR 2020 PQ to 709 SDR 2020 HLG to 709 HLG 2020 HLG to 709 SDR	CDLや外部のLUTなどのプリセットを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [ARRI (Rec2100-PQ-1K-100)]または[RED (Log3G10 to 2020/PQ)]を選択時、[HDRレンジ] ➡ [SMPTE ST 2084 (PQ)]の設定が1000未満の場合は、[1000]になります。 • [ARRI (Rec2100-HLG-1K-200)]を選択時、[HDRレンジ] ➡ [Hybrid Log-Gamma]の設定は[1000]になります。 • [カラーガマット]と[ガンマ/EOTF]は、[User LUT]の設定内容に応じて設定されます(32)。 • 次のいずれかのときは設定できません。 <ul style="list-style-type: none"> - [カラーガマット]が[Cinema Gamut to XXX]または[S-GamutXXX] - [ガンマ/EOTF]が[Canon Log]、[Canon Log 2]または[Canon Log 3] - [2020コンスタントルミナンス]が[コンスタント] - [フォーマット]の信号方式がICtCpまたはXYZ
●[CDL 1-8]を選択時		
Power	0.50 ～4.00(1.00)	画像のガンマを調整します。(0.01刻み)
Saturation	0.000 ～2.000(1.000)	画像の彩度を調整します。(0.001刻み)
Offset	-1.000 ～1.000(0.000)	画像の黒レベルを調整します。(0.001刻み)
Slope	0.000 ～2.000(1.000)	画像の白レベルを調整します。(0.001刻み)
バイパス	オン、 オフ	[オン]にすると、CDLでの調整結果を一時的に無効にし、調整前の画質に戻すことができます。 <ul style="list-style-type: none"> • 本機の電源を切るまで、調整値は記憶されます。 • 次の場合、[オフ]になります。 <ul style="list-style-type: none"> - [ピクチャーモード]を変更したとき - [CDL/User LUT]の設定を変更したとき - [ピクチャーファンクション設定] ➡ [比較表示] ➡ [表示]の設定を変更したとき • [ピクチャーファンクション設定] ➡ [比較表示] ➡ [表示] ➡ [オン]のとき、[オフ]固定です。 • [チャンネル設定] ➡ [ピクチャーモード] ➡ [タイプ] ➡ [Quad]または[Dual]のときに、Screen A ～ Dすべての[ピクチャーモード]に[バイパス]の設定が反映されます。

サブメニュー		設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)
詳細設定		
CDLエクスポート		CDLでの調整値をエクスポートします。
CDLプリセット	CDL 1 ～ CDL 8 すべて	
ファイル形式	CCC、CDL	
実行		
CDLインポート		CDLでの調整値をインポートします。
ファイル名		
CDLプリセット	CDL 1 ～ CDL 8	
実行		
CDLプリセット名		[CDL 1-8]の名前を、半角英数字記号16文字以内で変更できます。
CDLアンカー		[Power]、[Saturation]、[Offset]、[Slope]の各調整値を一時的に保存して、その値に戻すことができます。(アンカーポイントの設定)
CDLリセット		CDLでの調整値をリセットします。
●[User LUT 1-8]を選択時 LUTのプリセットを選択します。		
LUTインポート		[詳細設定] ➡ [LUTインポート]、[LUT名]、[LUT消去]と同じ(📖28)
LUT名		
LUT消去		
カラーレンジ	オート 、マニュアル	<p>User LUTの処理前と処理後(入力／出力)に行うカラーレンジの変換方法を設定します。</p> <p>[オート]: User LUTの処理前と処理後(入力／出力)に、自動的にカラーレンジを変換します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - [カラーレンジ] ➡ [リミテッド]のとき(📖25): [Input]は[Limited to Full]になります。[Output]は[Full to Limited]になります。 - [カラーレンジ] ➡ [フル]のとき(📖25)*: [Input]と[Output]は[オフ]になります。 <p>* [SDIフル(4-1019)]を含みます。</p> <p>[マニュアル]: [Input]または[Output]を設定します。</p>
Input	Limited to Full、オフ	<p>[カラーレンジ] ➡ [マニュアル]のとき User LUTの処理前のレンジの変換方法を設定します。</p> <p>[Limited to Full]: [フル]に変換する処理を行います。</p> <p>[オフ]: カラーレンジを変換しません。</p>
Output	Full to Limited、オフ	<p>[カラーレンジ] ➡ [マニュアル]のとき User LUTの処理後のレンジの変換方法を設定します。</p> <p>[Full to Limited]: [リミテッド]に変換する処理を行います。</p> <p>[オフ]: カラーレンジを変換しません。</p>

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
映像信号情報	適用、非適用	波形モニターやベクトルスコープなどの映像信号情報を表示する際に、LUTを適用する／しないを選びます。
バイパス	オン、 オフ	<p>[オン]にすると、User LUTを適用する前の画質に戻すことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ピクチャーファンクション設定] ➤ [比較表示] ➤ [表示] ➤ [オン]のとき、[オフ]固定です。 • 本機の電源を切るまで、調整値は記憶されます。 • 次の場合、[オフ]になります。 <ul style="list-style-type: none"> - [ピクチャーモード]を変更したとき - [CDL/User LUT]の設定を変更したとき - [ピクチャーファンクション設定] ➤ [比較表示] ➤ [表示]の設定を変更したとき • [チャンネル設定] ➤ [ピクチャーモード] ➤ [タイプ] ➤ [Quad]または[Dual]のときに、Screen A～Dすべての[ピクチャーモード]に[バイパス]の設定が反映されます。
詳細設定	ピクチャーモードの詳細な設定をします。	
LUTインポート	LUTのインポートができます。インポートできるファイルの名称は、英数字記号(半角)で64文字までです(拡張子を含む)。(📄9)	
ファイル名		ファイル名を選択します。
LUT選択	3D-LUT 1～8	インポートするLUTの保存先を選択します。
実行		インポートを実行します。
LUT名	半角英数字記号24文字以内で、LUTの名称を設定できます。	
LUT選択		[LUTインポート]と同じ
名称入力		LUTの名称を入力します。
LUT消去	インポートしたLUTを消去します。	
LUT選択		[LUTインポート]と同じ
消去		消去を実行します。
YCbCr カラーマトリクス	オート ITU-R BT.709 ITU-R BT.2020	<p>入力信号がYCbCrフォーマットのときのマトリクス変換方法を設定します。</p> <p>[オート]: [ピクチャーモード]または[カラーガマット]の設定が [ITU-R BT.2020]のときはITU-R BT.2020規格、それ以外は ITU-R BT.709規格に準拠したマトリクス係数を設定します。 [ITU-R BT.709]: ITU-R BT.709規格に準拠したマトリクス係数を設定します。 [ITU-R BT.2020]: ITU-R BT.2020規格に準拠したマトリクス係数を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ピクチャーモード]の[ACESproxy (ver. 1.0.1)]を選択時は、設定できません。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
2020 コンスタントルミ ナンス	コンスタント ノンコンスタント	<p>[ピクチャーモード]または[カラーガマット] ➡ [ITU-R BT.2020]のとき カラーマトリクスの変換方法を設定します。</p> <p>[コンスタント]: YUV信号をリニアに変換した後、RGB信号に変換します。</p> <p>[ノンコンスタント]: YUV信号をガンマ0.45のままRGB信号に変換します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 次のいずれかのときは設定できません。 <ul style="list-style-type: none"> - [ガンマ/EOTF]が[Canon Log]、[Canon Log 2]または[Canon Log 3] - [フォーマット]の信号方式がICtCpまたはXYZ - [チャンネル設定] ➡ [ピクチャーモード] ➡ [タイプ] ➡ [Quad]または[Dual] - [チャンネル設定] ➡ [入力設定] ➡ [HD/SD-SDI]のときは、[ノンコンスタント]固定です。
2020 ガマットマッピング グ	ガマットマッピング クリッピング	<p>[ピクチャーモード]または[カラーガマット] ➡ [ITU-R BT.2020]のとき [ガマットマッピング]: ネイティブ色域外の色をキャノン独自の方式でマッピングします。</p> <p>[クリッピング]: ネイティブ色域外の色を一般的な方式でクリップします。</p> <ul style="list-style-type: none"> [チャンネル設定] ➡ [ピクチャーモード] ➡ [タイプ] ➡ [Quad]または[Dual]のときは設定できません。
HLG System Gamma	オート マニュアル	<p>[ガンマ/EOTF] ➡ [Hybrid Log-Gamma]のとき システムガンマ値、またはピーク輝度を設定します。</p> <p>[オート]: [Hybrid Log-Gamma]を選択時、ルミナンスとHDRレンジに応じて、自動でシステムガンマ値を調整します。</p> <p>[マニュアル]: [Hybrid Log-Gamma]の選択時は、システムガンマ値を調整します。(0.005刻み) 各設定値の最大値が、[HDRレンジ]の上限値になります。</p>
V2730 バックライトフラッ シュ低減	オン、オフ	<p>[画質設定] ➡ [バックライトコントロール]の[オフ]以外を選択時、暗いシーンから明るいシーンに切り替わるときなど、輝度差のある映像表示時に発生するフラッシュのように見える現象を低減します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [チャンネル設定] ➡ [ピクチャーモード] ➡ [タイプ] ➡ [Quad]または[Dual]の場合、Screen Aの設定値に固定されます。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
HDMIリンク	<p>[ピクチャーモード] ➡ [User 1-9]のとき HDMIのメタデータを使い、映像の画質設定に連動した画質で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [チャンネル設定] ➡ [入力設定] ➡ [Multi View]のときは、設定できません。 • HDMIメタデータと本機の設定値対応表(32) 	
自動設定	オン、 オフ	HDMIリンクを入／切します。
カラーガマット/ ガンマ/EOTF	オン 、オフ	本機の[カラーガマット]、[ガンマ/EOTF]の設定を、HDMIのメタデータに合わせます。
ルミナンス/HDR レンジ	オン 、オフ	本機の[ルミナンス]、[HDRレンジ]の設定を、HDMIのメタデータに合わせます。
ピクチャーモードコ ピー	<p>[ピクチャーモード] ➡ [User 1-9]のとき ピクチャーモードの設定内容をコピーします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • その他の[ピクチャーモード]の場合は、工場で行ったキャリブレーション結果がコピーされます。 	
コピー元ピクチャー モード	ITU-R BT.709 ITU-R BT.2020 Adobe RGB DCI-P3 User 1 (2020 PQ) User 2 (2020 HLG) User 3 (DCI PQ) User 4 (DCI PQ D65) User 5 ~ User 9	<p>コピー元のピクチャーモードを選択します。</p> <p>[User 1-9]：現在設定しているモード以外から選択します。</p>
実行		コピーを実行します。
ピクチャーモード名		[User 1-9]の名前を、半角英数字記号24文字以内で変更できます。
画質設定アンカー	OK キャンセル	<p>[ルミナンス]、[ブライトネス]、[クロマ]、[HDRレンジ]の調整値を一時的に保存して、その値に戻すことができます(アンカーポイントの設定)。</p> <p>[OK]：アンカーポイントを設定します。 [キャンセル]：アンカーポイント設定を実行せずに、1つ前の画面に戻ります。</p>
画質設定リセット	OK キャンセル	<p>[ピクチャーモード]の設定内容を工場出荷時に戻します。キャリブレーションを実行している[User 1-9]モードは、工場出荷時ではなくキャリブレーション後の設定内容に戻ります。</p> <p>選択すると[画質設定値を初期状態に戻しますか?]というメッセージが表示されます。</p> <p>[OK]：リセットを実行します。 [キャンセル]：リセットを実行せずに、1つ前の画面に戻ります。</p>

■ [カラーガマット]と選択できる[ガンマ/EOTF]の関係

[カラーガマット]を変更した場合、現在設定中の[ガンマ/EOTF]の設定内容が選択できないときは、下線の値(初期値)に変更されます。

ピクチャーモード	カラーガマット	選択できるガンマ/EOTF
ITU-R BT.709、 ITU-R BT.2020	選択不可	1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Hybrid Log-Gamma、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、S-Log2 (HDR)、S-Log3 (HDR)
Adobe RGB		1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886
DCI-P3		1.0、2.2、2.35、2.4、 <u>2.6</u> 、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、S-Log2 (HDR)、S-Log3 (HDR)
CINEMA EOS SYSTEM、 User 1-9	ITU-R BT.709、 ITU-R BT.2020	1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Hybrid Log-Gamma、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、S-Log2 (HDR)、S-Log3 (HDR)
	Adobe RGB	1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886
	DCI-P3	1.0、2.2、2.35、2.4、 <u>2.6</u> 、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、S-Log2 (HDR)、S-Log3 (HDR)
	Native	1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)
	Cinema Gamut to 709、 Cinema Gamut to 2020	2.2、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、 <u>Canon Log 2 (HDR)</u> 、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)
	Cinema Gamut to DCI	Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、 <u>Canon Log 2 (HDR)</u> 、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)
	S-Gamut3 to 709 S-Gamut3 to 2020 S-Gamut3.Cine to 709 S-Gamut3.Cine to 2020	1.0、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、Hybrid Log-Gamma、S-Log2 (HDR)、S-Log3 (HDR)
	S-Gamut3 to DCI S-Gamut3.Cine to DCI	1.0、2.2、2.35、2.4、 <u>2.6</u> 、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084 (PQ)、S-Log2 (HDR)、S-Log3 (HDR)

■ [カラーレンジ] ➡ [オート]時の動作(SDI選択時)

	設定内容	設定されるカラーレンジ
ピクチャーモード	DCI-P3	フル
カラーガマット	DCI-P3 Cinema Gamut to DCI	
ガンマ/EOTF	Canon Log(HDR) Canon Log 2(HDR) Canon Log 3(HDR) S-Log2 (HDR) S-Log3 (HDR)	
上記以外		リミテッド

■ [User LUT]と[カラーガマット]・[ガンマ/EOTF]の設定値対応表

User LUT	カラーガマット	ガンマ/EOTF
ARRI (Rec2100-PQ-1K-100)	ITU-R BT.2020	SMPTE ST 2084 (PQ)
ARRI (Rec2100-HLG-1K-200)	ITU-R BT.2020	Hybrid Log-Gamma
VARICAM (V-Log to V-709)	ITU-R BT.709	2.2
RED (Log3G10 to 709/1886)	ITU-R BT.709	ITU-R BT.1886
RED (Log3G10 to 2020/PQ)	ITU-R BT.2020	SMPTE ST 2084 (PQ)
2020 PQ to 2020 SDR	ITU-R BT.2020	2.4
2020 PQ to 709 SDR	ITU-R BT.709	
2020 HLG to 709 HLG	ITU-R BT.709	—(選択可)
2020 HLG to 709 SDR	ITU-R BT.709	2.4

■ HDMIメタデータと本機の設定値対応表

HDMIメタデータ	本機の設定値
カラーガマット	BT.709
	BT.2020
ガンマ/EOTF	Traditional SDR
	PQ
	Hybrid Log-Gamma

■ 各[ピクチャーモード]の工場出荷時の設定内容

設定項目		ITU-R BT.709	ITU-R BT.2020	Adobe RGB	DCI-P3
ルミナンス		100.0	100.0	100.0	48.0
ブライトネス		0	0	0	0
クロマ		1000	1000	1000	1000
バックライトコントロール		ローカル ディミング 弱	ローカル ディミング 弱	ローカル ディミング 弱	ローカル ディミング 弱
色温度	プリセット	D65	D65	D65	DCI-P3
	x	0.313	0.313	0.313	0.314
	y	0.329	0.329	0.329	0.351
	ゲイン/バイアス 設定対象	共通	共通	共通	共通
	ゲインR/G/B	1023/1023/1023([D65 Custom]のとき：1000/1023/1023)			
	バイアスR/G/B	0	0	0	0
カラーガマット		ITU-R BT.709	ITU-R BT.2020	Adobe RGB	DCI-P3
ガンマ/EOTF		2.2	2.2	2.2	2.6
カラーレンジ		オート	オート	オート	オート
Output Transform		－	－	－	－
Output Transform Surround		－	－	－	－
CDL/User LUT		オフ	オフ	オフ	オフ
YCbCr カラーマトリクス		オート	オート	オート	オート
2020 コンスタントルミナンス		ノンコンスタント	ノンコンスタント	ノンコンスタント	ノンコンスタント
2020 ガマットマッピング		クリッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング
HLG System Gamma		オート	オート	オート	オート
V2730 バックライトフラッシュ低減		オフ	オフ	オフ	オフ
HDMIリンク		オフ	オフ	オフ	オフ
ピクチャーモード名		－	－	－	－

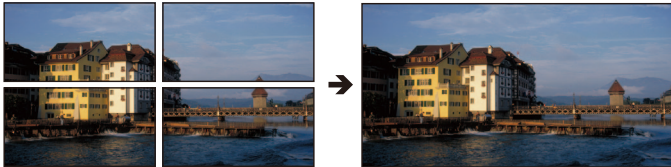
設定項目		User 1	User 2	User 3	User 4	User 5 ~ User 9
ルミナンス		1000.0	1000.0	1000.0	1000.0	100.0
ブライトネス		0	0	0	0	0
クロマ		1000	1000	1000	1000	1000
バックライトコントロール		ローカル ディミング オート	ローカル ディミング オート	ローカル ディミング オート	ローカル ディミング オート	ローカル ディミング 弱
色温度	プリセット	D65	D65	DCI-P3	D65	D65
	x	0.313	0.313	0.314	0.313	0.313
	y	0.329	0.329	0.351	0.329	0.329
	ゲイン/バイアス設定対象	共通	共通	共通	共通	共通
	ゲインR/G/B	1023/1023/1023 ([D65 Custom] のとき : 1000/1023/1023)				
	バイアスR/G/B	0	0	0	0	0
カラーガマット		ITU-R BT.2020	ITU-R BT.2020	DCI-P3	DCI-P3	ITU-R BT.709
ガンマ/EOTF		SMPTE ST 2084 (PQ)	Hybrid Log- Gamma	SMPTE ST 2084 (PQ)	SMPTE ST 2084 (PQ)	2.2
カラーレンジ		オート	オート	オート	オート	オート
Output Transform		－	－	－	－	－
Output Transform Surround		－	－	－	－	－
CDL/User LUT		オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
YCbCr カラーマトリクス		オート	オート	オート	オート	オート
2020 コンスタントルミナンス		ノンコンスタント	ノンコンスタント	ノンコンスタント	ノンコンスタント	ノンコンスタント
2020 ガマットマッピング		クリッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング	クリッピング
HLG System Gamma		オート	オート	オート	オート	オート
V2730 バックライトフラッシュ低減		オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
HDMIリンク		オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
ピクチャーモード名		User 1 (2020 PQ)	User 2 (2020 HLG)	User 3 (DCI PQ)	User 4 (DCI PQ D65)	User 5 ~ User 9

設定項目		CINEMA EOS SYSTEM	ACESproxy (ver. 1.0.1)
ルミナンス		1000.0	48.0
ブライトネス		0	0
クロマ		1000	1000
バックライトコントロール		ローカルディミング オート	ローカルディミング 弱
色温度	プリセット	D65	D60
	x	0.313	0.322
	y	0.329	0.338
	ゲイン/バイアス設定 対象	共通	共通
	ゲインR/G/B	1023/1023/1023 ([D65 Custom]のとき : 1000/1023/1023)	
	バイアスR/G/B	0	0
カラーガマット		ITU-R BT.2020	—
ガンマ/EOTF		Canon Log 2 (HDR)	—
カラーレンジ		オート	—
Output Transform		—	DCI-P3
Output Transform Surround		—	Dark Surround
CDL/User LUT		オフ	オフ
YCbCr カラーマトリクス		オート	オート
2020 コンスタントルミナ ンス		ノンコンスタント	ノンコンスタント
2020 ガマットマッピング		クリッピング	クリッピング
HLG System Gamma		オート	オート
V2730 バックライトフラッシュ低減		オフ	オフ
HDMIリンク		オフ	オフ
ピクチャーモード名		—	—

チャンネル設定

入力信号に関する設定を行うときに使うメニューです。[セレクトチャンネル]からチャンネルを選択して、設定します。
※「対応信号フォーマット」(177)

サブメニュー	設定内容	
セレクトチャンネル	CH1 ～ CH20	<p>チャンネル番号を表示して、チャンネルを切り換えます。また、各チャンネルには、[チャンネル設定]の各内容を設定できます(14)。</p> <ul style="list-style-type: none"> • チャンネルを切り換えるとき、3秒程度時間がかかる場合があります。
入力設定	12-3G/HD-SDI HD/SD-SDI HDMI Multi View －(未設定)	<p>入力を選択します。工場出荷時の設定内容はチャンネルによって異なります(15)。</p> <p>[Multi View]を選ぶと、それぞれの画面に入力する信号を、SDI信号またはHDMI信号から選択できます。なお、SD-SDIは表示できません。</p>
入力信号選択	オート Quad Input Dual Input A,B Dual Input C,D Single Input A Single Input B Single Input C Single Input D	<p>信号の表示方法を設定します。</p> <p>[オート]：入力信号に合わせて、自動で判別します。</p> <p>[Quad Input]：4つの入力信号(Input A ～ Input D端子)を表示します。</p> <p>[Dual Input A,B]：2つの入力信号(Input A端子とInput B端子)を表示します。</p> <p>[Dual Input C,D]：2つの入力信号(Input C端子とInput D端子)を表示します。</p> <p>[Single Input A]、[Single Input B]、[Single Input C]、 [Single Input D]：1つの入力信号(Input A ～ Input Dのいずれかの端子)を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入力信号により、設定可能な設定内容は異なります。 <ul style="list-style-type: none"> - [HDMI]の場合：[オート]固定です。 - [HD/SD-SDI]の場合：[Single Input A]～[Single Input D]のみ選択可能です。

サブメニュー	設定内容	
Image Division	<p>[入力設定] ➤ [12-3G/HD-SDI] のとき [Quad Input] または [Dual Input] の場合の表示方法を設定します。4K映像の信号は、「Square Division」と「2 Sample Interleave」の2つの分割方式に対応しています。</p> <p>[入力設定] ➤ [Multi View] のとき マルチ画面表示のしかたを [Multi View (Quad)] または [Multi View (Dual)] から選択できます。</p>	
	<p>オート</p> <p>[入力信号選択] ➤ [Quad Input] のとき Square Division 2 Sample Interleave Multi View (Quad)</p> <p>[入力信号選択] ➤ [Dual Input] のとき 2 Sample Interleave Multi View (Dual)</p>	<p>[オート]: Payloadをもとに、自動判別して表示します。 [Square Division]: 4分割して伝送された信号を、1映像として表示します。 [2 Sample Interleave]: 2K/HD信号に分割して伝送された信号を、1映像として表示します。 [Multi View (Quad)]: 4入力それぞれの映像を、4画面に表示します。 [Multi View (Dual)]: 2入力それぞれの映像 (Input A,B または Input C,D) を、2画面に表示します。</p>  <p>入力信号選択: Quad Input、Image Division: Square Division</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Multi View (Quad)] または [Multi View (Dual)] のとき、2画面または4画面表示ができる映像信号フォーマットの組み合わせは、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> - 解像度の組み合わせ: 同一、または「4096x2160と2048x1080」、「3840x2160と1920x1080」 - フレームレートとI/P/PsFの組み合わせ: <ul style="list-style-type: none"> 「23.98P / 24P / 25P / 29.97P / 30P」のいずれかの場合 「I(すべて) / PsF(すべて) / 47.95P / 48P / 50P / 59.94P / 60P」のいずれかの場合 - (4画面表示のみ) 左右それぞれで、上下画面の映像信号のフレームレートとI/P/PsFが同じ場合 フレームレートやI/P/PsFが異なる信号を入力したとき、周期的に映像の乱れが発生する場合があります。 • [Multi View (Quad)] または [Multi View (Dual)] で「2048×1080」の映像の場合、[スクリーンスケーリング]が[オート]のときは縮小して表示します。[オート]以外のときは、左右部分をトリミングして表示します。
Screen A ~ D	SDI Input A SDI Input B SDI Input C SDI Input D HDMI	[入力設定] ➤ [Multi View] のときに、選択したスクリーンにどの端子の信号を表示するかを設定します。
Link Order	オート オフ	[2 Sample Interleave] 信号の場合、Payloadをもとに、端子の順番を自動判別し、正しい順番に並べ替えて表示します。

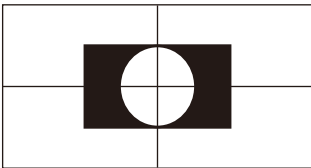
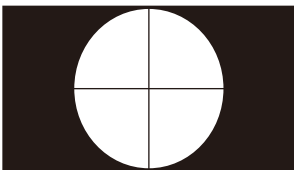
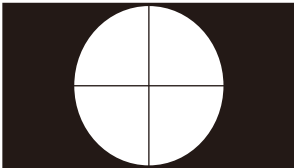
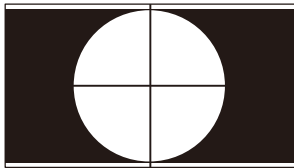
サブメニュー	設定内容	
フォーマット	SDI信号の場合 オート 4:2:2 YCbCr 10-bit 4:2:2 YCbCr 12-bit 4:4:4 YCbCr 10-bit 4:4:4 YCbCr 12-bit 4:2:2 ICtCp 10-bit 4:2:2 ICtCp 12-bit 4:4:4 ICtCp 10-bit 4:4:4 ICtCp 12-bit 4:4:4 RGB 10-bit 4:4:4 RGB 12-bit 4:4:4 XYZ 10-bit 4:4:4 XYZ 12-bit HDMI信号／ Multi Viewの場合 オート	カラーフォーマットと信号の階調を設定します。 [オート]: 入力信号に合わせて、自動で判別します。 • HD-SDI信号は、[4:2:2 YCbCr 10-bit]または[4:2:2 ICtCp 10-bit]になります。 • [オート]を選択した場合、A→B→C→Dの優先順位で選択されたPayloadで処理されます。また、[入力設定] ➡ [Multi View]の場合、SDI信号とHDMI信号では異なるフォーマットで表示できます(ICtCp/XYZを除く)。 • ICtCp方式の信号を正しく表示するための各設定は、次のとおりです。 - [ピクチャーモード]: [ITU-R BT.709]または[ITU-R BT.2020] - [カラーガマット]: [ITU-R BT.709]または[ITU-R BT.2020] - [ガンマ/EOTF]: [SMPTE ST 2084 (PQ)]、[Hybrid Log-Gamma] • SDI信号のICtCp方式を取り扱いたい場合には、信号に合わせて[4:2:2 ICtCp 10-bit]、[4:2:2 ICtCp 12-bit]、[4:4:4 ICtCp 10-bit]または[4:4:4 ICtCp 12-bit]を選択してください。 • SDI信号の4:4:4 XYZ 10-bitを取り扱いたい場合には、[4:4:4 XYZ 10-bit]を選択してください。4:4:4 RGB 10-bitフォーマットで出力されたRGBデータの中に、XYZデータが入っている信号として扱います。 • SDI信号の場合、[カラーガマット]が[Cinema Gamut to XXX]または[S-GamutXXX]のとき、または[ガンマ/EOTF]が[Canon Log]、[Canon Log 2]、[Canon Log 3]のときは、カラーフォーマットに応じて次のように動作が変わります。 - ICtCp / RGB: YCbCrとして動作 - XYZ: RGBとして動作
音声端子	[入力信号選択] ➡ [Quad Input]のとき オート、Input A、 Input B、Input C、 Input D [Dual Input A,B]の とき オート、Input A、 Input B [Dual Input C,D]の とき オート、Input C、 Input D	音声端子を設定します。 [オート]: 入力信号に合わせて、自動で判別します。 • [入力信号選択] ➡ [オート]または[Single Input]の場合、[オート]固定です。 • [入力設定] ➡ [Multi View]のときに、[Screen A ~ D]で設定した端子の一覧が表示され、設定できます。
スイッチアウト	有償ライセンスの適用によって使用できる機能です。 スイッチアウトの各種設定をします。信号はMULTI FUNC. OUT端子から出力されます。	
出力信号選択	オート SDI Input A SDI Input B SDI Input C SDI Input D オフ	[オート]: 入力がある、または表示している端子を自動で判別して信号を出力します。 [SDI Input A]、[SDI Input B]、[SDI Input C]、[SDI Input D]: SDI Input A ~ Dの信号を出力します。 [オフ]: 出力しません。 • [出力信号選択]を変更したとき、一時的に、出力が乱れるまたは停止する場合があります。
出力信号マーカー	ホワイト レッド グリーン オフ	[Image Division]が[Multi View (Quad)]または[Multi View (Dual)]のとき、選択した色でスイッチアウトする信号に枠を表示します。

サブメニュー	設定内容	
チャンネル名		選択したチャンネルに、名前を設定します。入力できる文字は英数字記号(半角)で、16文字までです。
ピクチャーモード	チャンネルごとに[ピクチャーモード]を設定します。	
タイプ	ノーマル 4K/2K オート Quad Dual	<p>[ノーマル]: 1つの[ピクチャーモード]を設定します。</p> <p>[4K/2K]: 4Kまたは2K信号の表示画面ごとに、[ピクチャーモード]を設定します。</p> <p>[オート]: SDI信号に応じて、[ピクチャーモード]を設定します。カメラのメタデータ→Payload→解像度(4K/2K)の優先順位で、設定した[ピクチャーモード]に切り換わります。</p> <p>[Quad]: [Image Division]が[Multi View (Quad)]のときに、Screen A～Dそれぞれにピクチャーモードを設定します。</p> <p>[Dual]: [Image Division]が[Multi View (Dual)]のときに、Screen A～Bそれぞれにピクチャーモードを設定します。</p>
<p>[タイプ] ➡ [ノーマル]のとき ピクチャーモード</p> <p>[4K/2K]のとき Resolution 4K、2K</p> <p>[オート]のとき Resolution 4K、2K Payload UHD/PQ、 UHD/HLG、UHD、 709/PQ、 709/HLG、709、 VANC、Unknown Camera CINEMA EOS SYSTEM、 ARRI、VARICAM</p> <p>[Quad]のとき Screen A～D</p> <p>[Dual]のとき Screen A～B</p>	<p>ITU-R BT.709 ITU-R BT.2020 Adobe RGB DCI-P3 User 1 (2020 PQ) User 2 (2020 HLG) User 3 (DCI PQ) User 4 (DCI PQ D65) User 5～User 9 CINEMA EOS SYSTEM ACESproxy (ver. 1.0.1) -(未設定)</p>	<p>各画面の[ピクチャーモード]を設定します。</p> <p>[ACESproxy (ver. 1.0.1)]: [タイプ]が[ノーマル]のときに設定できません。</p> <p>[-] (未設定): 入力信号に応じて自動的に画質を切り換えません。[タイプ] ➡ [オート]で、[Resolution 4K]と[Resolution 2K]以外を選択時に設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> SDI Payload IDのColorimetry Bit/Transfer Characteristicsは、次の規格に準拠した信号に対応しています。 SMPTE ST 2082-10:2018 (12G-SDI) SMPTE ST 2081-10:2018 (6G-SDI) SMPTE ST 425-1:2017 (3G-SDI Single Link / Square Division) SMPTE ST 425-3:2019 (3G-SDI Dual Link(2SI)) SMPTE ST 425-5:2019 (3G-SDI Quad Link(2SI)) SMPTE ST 292-1:2018 (HD-SDI) 入力信号により、設定可能な設定内容は異なります。 <ul style="list-style-type: none"> [入力設定] ➡ [HDMI]の場合: [タイプ]の[4K/2K]と[オート]は設定できません。 [入力設定] ➡ [HD/SD-SDI]の場合、[タイプ]は[ノーマル]固定です。
マーカープリセット	マーカー1 マーカー2 マーカー3 マーカー4 マーカー5 オフ	指定したチャンネルに、[マーカープリセット] (📄45)を設定します。

サブメニュー	設定内容	
1入力Dual View	オート、オフ	<p>[Image Division] ➡ [Multi View(Quad)]または[Multi View(Dual)] 以外 のとき 入力映像を縮小して、2画面で表示することができます。</p> <p>[オート]: [ピクチャーファンクション設定]のサブメニュー項目が[オン]のときに、自動的に同じ画像を並べて、2画面比較表示をします。 4K映像は縮小して表示されます。</p> <p>該当する[ピクチャーファンクション設定]のサブメニュー項目： [ピーキング]、[フォルスカラー]、[レンジチェック]、[2020 色域 域外表示]、[モノクロ]、[ブルーオンリー]、[レッドオフ]、[グリー ンオフ]、[ブルーオフ]、[比較表示]</p> <ul style="list-style-type: none"> • 非対応の信号が入力されている場合は、無効です。 • [入力設定] ➡ [HD/SD-SDI]の場合は設定できません。
セパレーター	ホワイト ハーフ ブラック オフ	<p>次の場合に、画面の境界線を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - [Multi View (Quad)] または [Multi View (Dual)] のとき - [1入力Dual View]が[オート]で動作している場合 - [ピクチャーファンクション設定] ➡ [比較表示] ➡ [表示]が[オン]のとき

ディスプレイ設定

表示のしかたを設定するときに使うメニューです。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)
スクリーン スケーリング	<p>Native Input Resolution 200% オート</p> <p>画像をスケーリングして画面にどのように表示するかを設定します。</p> <p>[Native Input Resolution]：スケーリングをせずに入力信号をそのまま表示します。</p>  <p>1920x1080(オリジナル)</p> <p>[200%]：縦横2倍に拡大します。</p>  <p>1920x1080→3840x2160</p> <p>[オート]：画面全体に拡大／縮小して表示します。</p>   <p>1920x1080→3840x2160 4096×2160→3840×2025</p> <ul style="list-style-type: none"> • 次の場合、[オート]を選択しても、拡大率は最大200%です。 <ul style="list-style-type: none"> - [ピーキング]、[フォルスカラー]または[レンジチェック] ➤ [表示]が[オフ]以外のとき • 次の場合、[オート]を選択すると、縮小して表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> - 解像度が[4096×2160] - 解像度が[2048×1080]：[Image Division] ➤ [Multi View (Quad)]または[Multi View (Dual)]を選択時
アナモフィック	<p>x2.0 x1.8 x1.5 x1.33 オフ</p> <p>アナモフィックレンズを使って撮影した映像を確認するときに設定します。設定した倍率に応じて表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 次の場合、設定は無効になります。 <ul style="list-style-type: none"> - [ピーキング]、[フォルスカラー]または[レンジチェック] ➤ [表示]が[オフ]以外のとき - 入力信号の解像度が1280x720以下のとき

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
アスペクト(SD-SDI)	オート 16:9 4:3	SD-SDI信号の映像を表示するときのサイズを設定します。 [オート]: Payloadをもとに、自動判別します。 [16:9]: アスペクト比が「16:9」の表示になります。 [4:3]: アスペクト比が「4:3」の表示になります。 • 以下の機能が作動しているときは、[4:3]になります。 - ビーキング - フォルスカラー - レンジチェック
映像表示位置 (Multi View)	上 中 下(センター)	[Multi View (Quad)]または[Multi View (Dual)]、[1入力Dual View]表示のとき 映像の上下の表示位置を設定します。 [上]: 画面上部に配置します。 [中]: 画面中央より上に寄せて配置します。 [下(センター)]: 画面中央に配置します。
ズーム	映像の一部分を拡大します。ズーム機能は、解像度が[4096×2160]、[3840×2160]、[2048×1080]、[1920×1080]の場合に使用できます。 • 次の場合、ズーム機能は使用できません。 - [スクリーンキャプチャー]の[ファイル再生]を実行中 - テストパターンを表示中 - [Multi View (Quad)]または[Multi View (Dual)]、[1入力Dual View]表示時 - [チャンネル設定] ➤ [入力設定] ➤ [HD/SD-SDI]のとき - [ピクチャーファンクション設定] ➤ [比較表示] ➤ [表示] ➤ [オン]のとき • ズーム機能を使用中、各種マーカーは表示されません。 • ズーム機能の設定を変更すると、[フレームホールド]は[オフ]になります。	
ズームプリセット	ズーム1 ズーム2 ズーム3 オフ	ズームの表示方法を設定します。3つのプリセットがあります。
倍率	x2 x4 x8	ズームの表示倍率を設定します。
ポジション		ズーム調整画面が表示されます。ジョグダイヤルを使って、表示位置を調整します。
フレームホールド	オン、 オフ	映像を一時停止します。 • 映像を一時停止中に画質設定を変更した場合、正しく設定が反映されないことがあります。 • インタレース信号の場合、Odd / Evenいずれかのフィールドで一時停止します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
I/PsF	オート インターレース PsF	インターレース信号またはPsF信号を、どのように表示するか設定します。 [オート]：Payloadを元に自動判別し表示します。Payloadがない場合には、インターレースとして表示します。 [インターレース]：インターレースとして表示します。 [PsF]：PsFとして表示します。
I/P変換	オート ノーマル	インターレース信号のI/P変換方法を選びます。 [オート]：動画と静止画を判別して、それぞれに適した変換を自動的に行います。 [ノーマル]：動画／静止画の判別を行わず、一定の変換処理を行うモードです。

オーディオ設定




音声出力を設定するときに使うメニューです。

44

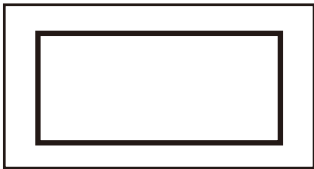

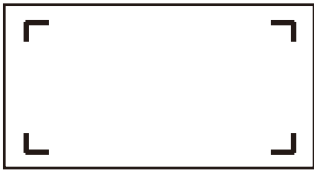

サブメニュー		設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)
CH L(SDI)	CH1 ～ CH16(CH1)	ヘッドホンの2チャンネル(L/R)に出力する音声を、それぞれ設定します。
CH R(SDI)	CH1 ～ CH16(CH2)	
CH L(HDMI)	CH1 ～ CH8(CH1)	
CH R(HDMI)	CH1 ～ CH8(CH2)	
音量(スピーカー)	0 ～100(30)	スピーカーまたはヘッドホン／ AUDIO OUT端子の音量を設定します(1刻み)。 <ul style="list-style-type: none">ヘッドホン端子にヘッドホンを接続すると、スピーカーの音声は停止します。AUDIO OUT端子はスピーカーと同時に使用できます。ヘッドホンとAUDIO OUT端子の音量は共通です。
音量(🔊 / AUDIO OUT)		


マーカー設定




各種マーカーを設定するときに使うメニューです。工場出荷時の設定内容は、[マーカープリセット]によって異なります(150)。

サブメニュー	設定内容(工場出荷時の設定内容)	
マーカープリセット	マーカー1～5 オフ	マーカーをカスタマイズして、マーカー1～5に設定します。
アスペクトマーカー ¹	アスペクトマーカーとは、指定されたアスペクト比で範囲を表示するものです。 	
表示	オン、オフ	アスペクトマーカーの表示、非表示を切り換えます。
マスク	ブラック ハーフ オフ	マスクの色を切り換えます。マスクとは、マーカーの範囲外のブランキングエリアです。 [ブラック]:  [ハーフ] (50%グレー):  [オフ]: マスクを表示しません。
アスペクト比	16:9、15:9、14:9、 13:9、4:3、2.39:1、 2.35:1、1.896:1、 1.85:1、1.66:1、 バリアブル •バリアブルを選択時 1.00:1～3.00:1	アスペクトマーカーのアスペクト比を設定します。 [バリアブル]を選択すると、数値で入力できます(0.01:1刻み)。グレー表示されていたスライダーがアクティブになり、スライダーを動かすことで設定できます。
ライン	オン、オフ	[マスク] ➡ [ブラック]または[ハーフ]のとき マスク上の線の表示、非表示を切り換えます。
ラインの太さ	太い 標準 細い	アスペクトマーカーの線の太さを設定します。

サブメニュー	設定内容(工場出荷時の設定内容)	
ラインの色	ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ、グレー	アスペクトマーカの線の色を設定します。
ラインの明るさ	明、暗、ハーフ	アスペクトマーカの線の明るさを設定します。
セーフティゾーン マーカ1、2 ¹	セーフティゾーンマーカは2種類を設定できます。設定項目は1、2共通です。セーフティゾーンマーカとは、映像の安全範囲(実際に映る範囲)を設定して、映像を確認するものです。 <div data-bbox="496 602 809 768" data-label="Image"> </div>	
表示	オン、オフ	セーフティゾーンマーカの表示、非表示を切り換えます。
アスペクト比	16:9、15:9、14:9、13:9、4:3、2.39:1、2.35:1、1.896:1、1.85:1、1.66:1、バリエブル • バリエブルを選択時 1.00:1 ~ 3.00:1	セーフティゾーンマーカのアスペクト比を設定します。 [バリエブル]: 数値で入力できます(0.01:1刻み)。グレー表示されていたスライダーがアクティブになり、スライダーを動かすことで設定できます。 • [エリアのサイズ]で[バリエブル(ドット)]が設定されている場合、[アスペクト比]は選択できません。
エリアのサイズ	80%、85%、88%、90%、93%、95% バリエブル(%）、バリエブル(ドット)	セーフティゾーンマーカのサイズを設定します。 [バリエブル(%)]：グレー表示されていた[倍率(%)]がアクティブになります。 [バリエブル(ドット)]：グレー表示されていた[幅(ドット)]と[高さ(ドット)]がアクティブになります。
倍率(%)	50 ~ 100	[エリアのサイズ] ➤ [バリエブル(%)]のとき スライダーを動かすことにより、1%単位で現在表示されているマーカに対する比率を設定できます。
幅(ドット)	20 ~ 3840	[エリアのサイズ] ➤ [バリエブル(ドット)]のとき スライダーを動かすことにより、2ドット単位で設定できます。
高さ(ドット)	20 ~ 2160	[エリアのサイズ] ➤ [バリエブル(ドット)]のとき スライダーを動かすことにより、2ドット単位で設定できます。

サブメニュー	設定内容(工場出荷時の設定内容)	
エリアの形	ボックス ボックス(マスク) ブラケット エンクロージャー	<p>セーフティゾーンマーカのエリアの形を設定します。</p> <p>[ボックス]:</p>  <p>[ボックス(マスク)]:</p>  <p>[ブラケット]:</p>  <p>[エンクロージャー]:</p> 
ラインの太さ	太い 標準 細い	セーフティゾーンマーカの線の太さを設定します。
ラインの色	ホワイト、レッド、 グリーン、ブルー、 イエロー、シアン、 マゼンタ、グレー	セーフティゾーンマーカの線の色を設定します。
ラインの明るさ	明、暗、ハーフ	セーフティゾーンマーカの線の明るさを設定します。
Hポジション	-1920 ~ 1920	設定されたアスペクトとサイズのまま、水平位置を移動できます(2刻み)。
Vポジション	-1080 ~ 1080	設定されたアスペクトとサイズのまま、垂直位置を移動できます(2刻み)。

サブメニュー	設定内容(工場出荷時の設定内容)	
エリアマーカ-1、2 ¹	<p>エリアマーカ-は2種類を設定できます。設定項目は1、2共通です。エリアマーカ-は、矩形を設定して所定の部分を確認するときに使用するマーカ-です。</p> 	
表示	オン、オフ	エリアマーカ-の表示／非表示を切り換えます。
Hポジション	0 ～ 3830	矩形の描画開始位置(X座標)を設定します(2刻み)。
Vポジション	0 ～ 2150	矩形の描画開始位置(Y座標)を設定します(2刻み)。
幅(ドット)	10 ～ 3840	矩形の幅を設定します(2刻み)。
高さ(ドット)	10 ～ 2160	矩形の高さを設定します(2刻み)。
マスク	ブラック ハーフ オフ	マスク(マーカ-内)の色を切り換えます。
ライン	オン、オフ	[マスク]●[ブラック]または[ハーフ]のとき 矩形輪郭の線の表示、非表示を切り換えます。
ラインの太さ	太い 標準 細い	[マスク]●[オフ]または[ライン]●[オン]のとき エリアマーカ-の線の太さを設定します。
ラインの色	ホワイト、レッド、 グリーン、ブルー、 イエロー、シアン、 マゼンタ、グレー	[マスク]●[オフ]または[ライン]●[オン]のとき エリアマーカ-の線の色を設定します。
ラインの明るさ	明、暗、ハーフ	[マスク]●[オフ]または[ライン]●[オン]のとき エリアマーカ-の線の明るさを設定します。

サブメニュー	設定内容(工場出荷時の設定内容)	
センターマーカー ²	<p>センターマーカーとは、映像の中心を表示するものです。</p> 	
表示	オン、オフ	センターマーカーの表示、非表示を切り換えます。
サイズ	大 中 小	センターマーカーの大きさを設定します。
ラインの太さ	太い 標準 細い	センターマーカーの線の太さを設定します。
ラインの色	ホワイト、レッド、 グリーン、ブルー、 イエロー、シアン、 マゼンタ、グレー	センターマーカーの線の色を設定します。
ラインの明るさ	明、暗、ハーフ	センターマーカーの線の明るさを設定します。
グリッドマーカー ³	<p>グリッドマーカーとは、水平、垂直を確認するときに使用するマーカーです。</p> <p>[間隔] ● [***ドット]の場合 [間隔] ● [***%(UHD)]の場合</p>  	
表示	オン、オフ	グリッドマーカーの表示、非表示を切り換えます。
間隔	160 ドット 240 ドット 320 ドット 80%(UHD) 83%(UHD) 85%(UHD) 88%(UHD) 90%(UHD) 93%(UHD) 95%(UHD)	<p>縦横の線の間隔を設定します。</p> <p>[160 / 240 / 320 ドット]: 線の間隔を、選択したドット数にします。 [80%(UHD)~95%(UHD)]: 3840x2160領域に対する表示エリアの割合です。選択した割合となる部分をマーカーで表示します。</p>
ラインの太さ	太い 標準 細い	グリッドマーカーの線の太さを設定します。
ラインの色	ホワイト、レッド、 グリーン、ブルー、 イエロー、シアン、 マゼンタ、グレー	グリッドマーカーの線の色を設定します。
ラインの明るさ	明、暗、ハーフ	グリッドマーカーの線の明るさを設定します。

¹ 次の場合、マーカーは表示されません。

- 無信号、非対応信号、または[入力設定]が設定されていないチャンネルを選択したとき
- 画像がズーム表示されているとき
- [スクリーンキャプチャー]の[ファイル再生]実行中のとき
- [テストパターン]が表示されているとき
- [Multi View (Quad)]、[Multi View (Dual)]、[1入力 Dual View]のとき

² 次の場合、マーカーは表示されません。

- 画像がズーム表示されているとき
- [Multi View (Quad)]、[Multi View (Dual)]、[1入力 Dual View]のとき

³ 次の場合、マーカーは表示されません。

- 画像がズーム表示されているとき

■ マーカーのプリセットの工場出荷時の設定内容

設定項目		工場出荷時の設定内容	
		マーカー 1～4	マーカー5
アスペクトマーカー	表示	オフ	オン
	マスク	オフ	ハーフ
	アスペクト比	16:9	16:9
	バリアブルを選択時	1.78:1	1.78:1
	ライン	オン	オン
	ラインの太さ	標準	標準
	ラインの色	ホワイ	グレー
	ラインの明るさ	暗	ハーフ
セーフティゾーンマーカー1、2	表示	オフ	オン
	アスペクト比	16:9	16:9
	バリアブルを選択時	1.78:1	1.78:1
	エリアのサイズ	80%	バリアブル(ドット)
	倍率(%)	80	80
	幅(ドット)	3072	2200(400*)
	高さ(ドット)	1728	100(400*)
	エリアの形	ボックス	ボックス(マスク)
	ラインの太さ	標準	標準
	ラインの色	ホワイ	グレー
	ラインの明るさ	暗	ハーフ
	H ポジション	0	0(1650*)
	V ポジション	0	-850(-800*)

設定項目		工場出荷時の設定内容	
		マーカー 1～4	マーカー5
エリアマーカー1、2	表示	オフ	オン
	Hポジション	240	240(3500**)
	Vポジション	120	120(60**)
	幅(ドット)	240	240
	高さ(ドット)	120	120(240**)
	マスク	オフ	ハーフ
	ライン	オン	オン
	ラインの太さ	標準	標準
	ラインの色	ホワイต์	グレー
	ラインの明るさ	暗	ハーフ
センターマーカー	表示	オフ	オン
	サイズ	中	小
	ラインの太さ	標準	標準
	ラインの色	ホワイต์	ホワイต์
	ラインの明るさ	暗	ハーフ
グリッドマーカー	表示	オフ	オン
	間隔	160ドット	85%(UHD)
	ラインの太さ	標準	標準
	ラインの色	ホワイต์	ホワイต์
	ラインの明るさ	暗	ハーフ

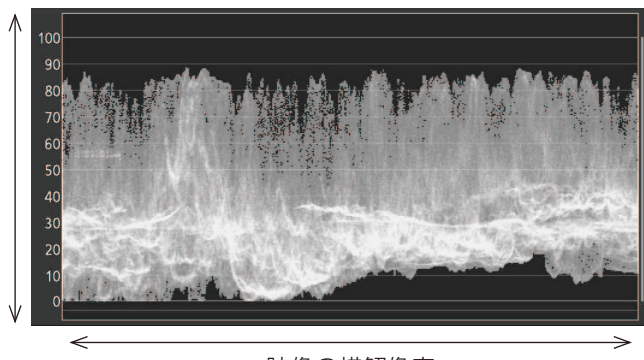
* セーフティゾーンマーカー2のとき

** エリアマーカー2のとき

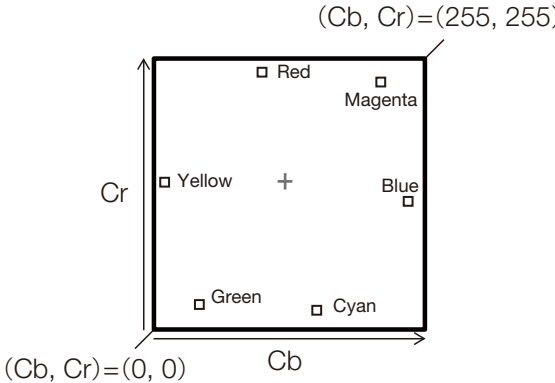
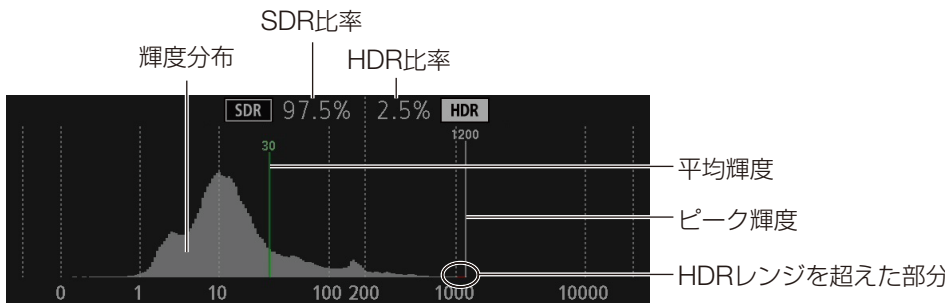
ファンクション設定



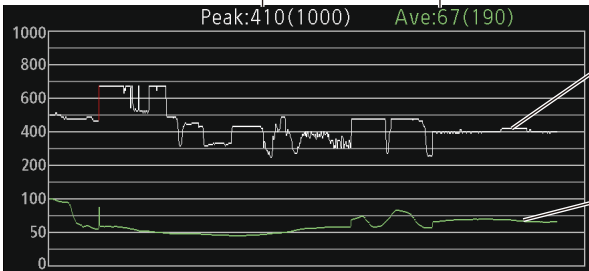
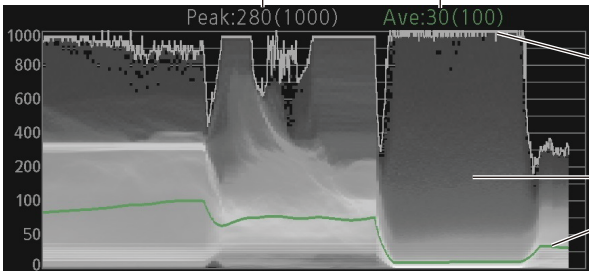
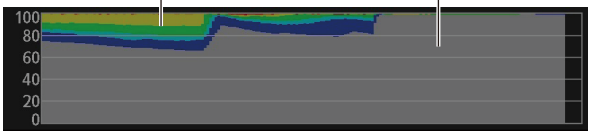

映像信号の情報表示やシネマカメラとの連携機能などを設定するときに使うメニューです。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
タイムコード ¹	信号に重畳されたタイムコードを表示します。 	
表示	オン、 オフ	タイムコードの表示、非表示を切り換えます。
タイプ	VITC LTC	タイプを選択します。 • HDMI信号の場合、設定は無効です。[VITC]固定になります。
VITC Field Flag	オン、 オフ	VITCタイムコードを表示するときに、フィールドフラグの使用の有無を選択します。
サイズ	大 小	サイズを選択します。
ポジション	左上 右上 左下 右下	表示位置を選択します。 • [Multi View (Dual)]または[マルチ情報表示]選択時、設定は無効になります。 • [左上]または[右上]を選択時：[オーディオレベルメーター] ▶ [表示] ▶ [オン]にすると、タイムコードは表示されません。
Hオフセット	0 ～1920 (0)	タイムコードの表示位置を調整します。 • [Multi View (Dual)]または[マルチ情報表示]選択時、[Hオフセット]の設定は無効です。
タイプ文字表示	オン 、オフ	VITC/LTC文字の表示を設定します。
明るさ	ノーマル 、ハーフ	文字の明るさを設定します。
オーディオレベルメーター ¹	オーディオレベルメーターの各種設定をします。選択したチャンネル数の音声レベルを表示します。	
表示	オン、 オフ	オーディオレベルメーターの表示／非表示を切り換えます。
チャンネル数(SDI)	2CH 4CH 6CH 8CH 16CH	SDI信号入力時の表示チャンネル数を設定します。
チャンネル数(HDMI)	2CH 4CH 6CH 8CH	HDMI信号入力時の表示チャンネル数を設定します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
チャンネルオーダー	ノーマル グルーピング	<p>チャンネルの並び順を設定します。</p> <p>[ノーマル]: 左側に奇数CH、右側に偶数CHを表示します(左側に[1、3、5、7]、右側に[2、4、6、8]など)。 [グルーピング]: 左側と右側で連続したCHを表示します(左側に[1、2、3、4]、右側に[5、6、7、8]など)。</p>
サイズ	大 小	<p>表示の大きさを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [チャンネル数(SDI)]が[16CH]で[1入力Dual View]または[マルチ情報表示]選択時、設定は無効になります。
ポジション	ノーマル 左	<p>表示位置を選択します。</p> <p>[ノーマル]: オーディオレベルメーターを両端に表示します。 [左]: 右側の表示を、画面中央に寄せて表示します。バナーの表示との重なりを抑制します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [マルチ情報表示]選択時、設定は無効になります。
ピークホールド	オン 、オフ	音声信号がピーク時の1秒間分を保持します。
基準レベル	-40 ~ 0 (-20)	基準レベルを設定します。
明るさ	ノーマル 暗 ハーフ	オーディオレベルメーターの明るさを設定します。
波形モニター ¹	<p>波形モニターの各種設定をします。波形モニターは、横軸に映像の横解像度、縦軸に信号レベルを配置し表示します。波形モニターの右側に、使用中の[カラーレンジ]と[HDRレンジ]の情報(縦線)を表示します。</p> <div style="text-align: center;">  <p>信号レベル</p> <p>映像の横解像度</p> </div>	
表示	オン、 オフ	波形モニターの表示／非表示を切り換えます。
信号選択	Y 、Cb、Cr、R、G、B、YRGB	<p>表示波形を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [R]、[G]、[B]、[YRGB]のいずれかの場合、[2020コンスタントルミナンス]が[コンスタント]でもノンコンスタントの値を表示します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
スケール	オート IRE SMPTE ST 2084 (PQ) Hybrid Log-Gamma Canon Log Canon Log 2 Canon Log 3 S-Log2 S-Log3 ARRI (Rec2100-PQ-1K-100) ARRI (Rec2100-HLG-1K-200)	波形モニターのスケールを設定します。 [オート]: [ガンマ/EOTF]と[カラーレンジ]の設定内容に応じて設定します。 • [SMPTE ST 2084 (PQ)]、[Canon Log]、[Canon Log 2]、[Canon Log 3]のとき([オート]を含む): [ガンマ/EOTF] ➡ [SMPTE ST 2084(PQ)]の場合、[カラーレンジ]の設定内容に合わせて表示します([SDIフル(4-1019)]は[フル]になります)。
基準ライン	4 ～ 1023	指定した位置にガイドが表示されます。[1023]で非表示になります。
基準レベル	オート マニュアル	基準レベルの範囲を設定します。基準レベルの範囲外を着色します。 HDRレンジに対応した[ガンマ/EOTF]の場合、HDRレンジを超えた部分を着色します。[YRGB]を選択時は、着色しません。 [カラーレンジ] ➡ [リミテッド]の場合、リミテッドの範囲外を着色します。 [オート]: [ガンマ/EOTF]と[カラーレンジ]の設定内容に応じて設定します。
基準レベル 高	468 ～1023	基準表示レベル(高)を設定します。[1023]で非表示になります。
基準レベル 低	0 ～468	基準表示レベル(低)を設定します。[0]で非表示になります。
カラー	表示する信号と、基準レベルを超えた信号の表示色を設定します。[YRGB]選択時、カラーは固定です。	
Y	ホワイト	[Y]、[Cb]、[Cr]、[R]、[G]、[B]: 選択した信号の色を選択します。 各信号の初期値は次のとおりです。 Y(ホワイト)、Cb(ホワイト)、Cr(ホワイト)、R(レッド)、 G(グリーン)、B(ブルー) [基準レベル 高]、[基準レベル 低]: 選択した基準レベルの信号の色を選択します。各基準レベルの初期値は次のとおりです。 基準レベル 高(マゼンタ)、基準レベル 低(シアン)
Cb	レッド	
Cr	グリーン	
R	ブルー	
G	イエロー	
B	シアン	
基準レベル 高	マゼンタ	
基準レベル 低		
ポジション	左下 右下	表示位置を選択します。 • [Multi View (Dual)]または[マルチ情報表示]選択時、設定は無効になります。
サイズ		表示の大きさを設定します。
V1830	大、 中 、小	• [マルチ情報表示]選択時、設定は無効になります。
V2730	大、中、 小	

サブメニュー		設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ベクトルスコープ ¹		<p>ベクトルスコープの各種設定をします。ベクトルスコープは、横軸に色差信号Cb、縦軸にCrを配置し、色信号の強さや色相を表示します。</p> <div></div>	
表示	オン、 オフ	ベクトルスコープの表示／非表示を切り換えます。	
ターゲット	75% 100% 75%+100%	ターゲットを設定します。	
ポジション		表示位置を選択します。	
	V1830 左下、 右下	• [Multi View (Dual)]または[マルチ情報表示]選択時、設定は無効になります。	
	V2730 左下、右下		
サイズ		表示の大きさを設定します。	
	V1830 大、 中 、小	• [マルチ情報表示]選択時、設定は無効になります。	
	V2730 大、中、 小		
ヒストグラム		<p>映像の輝度分布を表示します。</p> <div></div>	
表示	オン、 オフ	[ヒストグラム]の表示／非表示を切り換えます。	
カラー	オート ノーマル フォルスカラー	<p>[オート]: [ピクチャーファンクション設定] ➡ [フォルスカラー] ➡ [表示] ➡ [オフ]以外のとき、自動的に[フォルスカラー]の設定内容に合わせて表示します。</p> <p>[ノーマル]: モノクロで表示します。</p> <p>[フォルスカラー]: [ガンマ/EOTF] ➡ [SMPTE ST 2084 (PQ)]または[Hybrid Log-Gamma]のときに、[フォルスカラー]の設定内容に合わせて表示します。</p> <p>[フォルスカラー] ➡ [表示] ➡ [フォルスカラー1]または[オフ]のとき: [フォルスカラー1]の設定内容</p> <p>[フォルスカラー] ➡ [表示] ➡ [フォルスカラー2]のとき: [フォルスカラー2]の設定内容</p>	

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ゲイン	x1 、x2、x3	グラフを拡大して表示します。
HDRレンジ	オン 、オフ	[オン]：HDRレンジを超えた部分を着色します。 [オフ]：HDRレンジを超えた部分を着色しません。
HDR/SDR比率	オン 、オフ	[ガンマ/EOTF]  [SMPTE ST2084 (PQ)] または [Hybrid Log-Gamma] のとき、[HDR/SDR比率] の表示／非表示を切り換えます。
ピーク/平均輝度	オン 、オフ	[ガンマ/EOTF]  [SMPTE ST2084 (PQ)] または [Hybrid Log-Gamma] のとき、[ピーク/平均輝度] の表示／非表示を切り換えます。
サイズ	大 、小	表示の大きさを設定します。 • [1入力Dual View] または [マルチ情報表示] 選択時、設定は無効になります。
フレーム輝度モニター	<p>[ガンマ/EOTF] が [SMPTE ST 2084 (PQ)] または [Hybrid Log-Gamma] の場合に、画面全体 (フレーム) の [最大／平均輝度] を表示します。それ以外の場合は、[最大／平均階調値] を表示します。[フレーム輝度モニター] は、解像度が [4096×2160]、[3840×2160]、[2048×1080]、[1920×1080] の場合に使用できます。</p> <p>平均輝度の現在値(累積最大値)</p> <p>ピーク輝度の現在値(累積最大値)</p>  <p>ピーク輝度</p> <p>平均輝度</p> <p>• 輝度グラフ</p> <p>平均輝度の現在値(累積最大値)</p> <p>ピーク輝度の現在値(累積最大値)</p>  <p>ピーク輝度</p> <p>輝度分布表示</p> <p>平均輝度</p> <p>• 比率グラフ</p> <p>HDR比率</p> <p>SDR比率</p>  <p>• 表示できない本機の設定または入力信号の状態について ( 61)</p> <p>• [フレーム輝度モニター] の表示中に OSD メニュー を操作すると、更新に時間がかかったり、グラフ表示がリセットされることがあります。</p>	

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
機能	オン、 オフ	[フレーム輝度モニター]の有効／無効を設定します。有効時に、輝度情報を取得します。
表示	すべて 輝度グラフ HDR/SDR比率グラフ 輝度値 オフ	各グラフの表示／非表示を設定します。 [すべて]: [輝度グラフ(輝度値を含む)]と[HDR/SDR比率グラフ]を表示します。 [輝度グラフ]: [輝度グラフ(輝度値を含む)]を表示します。 [HDR/SDR比率グラフ]: [HDR/SDR比率グラフ]を表示します。 [輝度値]: ピーク輝度と平均輝度を表示します。 [オフ]: 表示しません。
輝度グラフ設定	[輝度グラフ]の表示方法を設定します。	
輝度分布	オン 、オフ	輝度の分布グラフの表示／非表示を切り換えます。
基準輝度レベル - ピーク	オート マニュアル • マニュアルを選択時 400 ~10000(1000)	[オート]: [HDRレンジ]の設定に連動して、ピーク輝度の上限を超えた部分を自動的に着色します。 [マニュアル]: ピーク輝度の上限値を設定します。設定値を超えた部分を着色します。(400 ~4000:100刻み。4000 ~10000:1000刻み)
基準輝度レベル - 平均	100 ~1000(400)	設定値を超えた部分を着色します。(100刻み)
基準輝度上昇レベル - ピーク	0 ~1000(400)	ピーク輝度の上昇レベルの基準値を設定します。(10 cd/m ² 刻み)
基準輝度上昇レベル - 平均	0 ~1000(200)	平均輝度の上昇レベルの基準値を設定します。(10 cd/m ² 刻み)
HDR/SDR比率グラフ設定	[HDR/SDR比率グラフ]の表示方法を設定します。SDRおよびHDRの比率は、[フォルスカラー] ➡ [HDR/SDR境界]の設定値と各レンジの設定値を使用します。	
タイプ	HDR/SDR HDR	[HDR/SDR]: HDR領域とSDR領域の割合を表示します。 [HDR]: HDR領域における輝度値の割合を表示します。
スケール	オート 、100%、75%、50%、25%、10%、5%	[タイプ] ➡ [HDR]のとき、輝度値の[スケール]を設定します。
サイズ	大 、小	表示の大きさを設定します。 • [1入力Dual View]または[マルチ情報表示]選択時、設定は無効になります。
リセット	表示内容をリセットします。	
エクスポート	[フレーム輝度モニター]を有効時に取得した輝度の情報を、USBメモリーにエクスポートします。	
色度図	オン、 オフ	色度図の表示／非表示を切り換えます。 ベクトルスコープ表示中は、色度図の性能が低下することがあります。 [オン]: 色度図を表示します。色度図が表示されるのは、[カラーガマット]と[ガンマ/EOTF]の設定が次の場合のみです。 ・[カラーガマット]: ITU-R BT.2020、ITU-R BT.709 ・[ガンマ/EOTF]: 1.0、2.2、2.35、2.4、2.6、SMPTE ST 2084(PQ)、Hybrid Log-Gamma

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ピクセル値チェック ¹	指定したピクセル(カーソル)位置のRGB値を測定して表示します。[ガンマ/EOTF]が[SMPTE ST 2084 (PQ)]または[Hybrid Log-Gamma]のときは、さらに輝度値を表示します。 • [2020コンスタントルミナンス]が[コンスタント]でもノンコンスタントの値を表示します。	
表示	オン、 オフ	ピクセル値チェックの表示／非表示を切り換えます。
Hポジション	1 ～4096 (960)	ピクセル位置(水平)を設定します。
Vポジション	1 ～2160 (540)	ピクセル位置(垂直)を設定します。
リセットポジション	ノーマル ピーク輝度周辺	RESETボタンを押下したときの動作を設定します。 [ノーマル]: 初期値にリセットします。 [ピーク輝度周辺]: 表示画像内のピーク輝度エリアの近辺に移動します。
色度図	オン 、オフ	色度図の表示／非表示を切り換えます。 [オン]: 色度図を表示します。色度図が表示されるのは、[カラーガマット]と[ガンマ/EOTF]の設定が次の場合のみです。 ・[カラーガマット]: ITU-R BT.2020、ITU-R BT.709 ・[ガンマ/EOTF]: 1.0、2.2、2.35、2.4、2.6、SMPTE ST 2084(PQ)、Hybrid Log-Gamma
マルチ情報表示	オン、 オフ	一時的に映像表示エリアを縮小し、各種映像情報表示類が重ならないように設定します。表示する映像情報は次のとおりです。 ・タイムコード、オーディオレベルメーター、波形モニター、ベクトルスコープ、ヒストグラム、フレーム輝度モニター、色度図
テストパターン	ホワイト (1023) ホワイト (940) グレー ブラック (64) ブラック (0) Ramp カラーバー カラーバー (PQ Full) カラーバー (PQ Limited) カラーバー (HLG) PLUGE PLUGE (PQ/HLG) オフ	本機に内蔵されているテストパターンを設定します。 • 電源を入れ直した場合、テストパターンは表示されません。 • 次の場合、テストパターンは消去されます。 - CHボタン、チャンネルアップ／ダウンが登録されたFボタン、[チャンネル設定]の[セレクトチャンネル]でチャンネルを切り換えたとき - [チャンネル設定]の[入力設定]または[入力信号選択]を切り換えたとき - [全設定リセット]を実行したとき

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
シグナルモニタリング	入力信号の状態を監視します。 <ul style="list-style-type: none"> • 次の場合、[シグナルモニタリング]は使用できません。 <ul style="list-style-type: none"> - [1入力Dual View]表示時 - 画像がズーム表示されているとき - テストパターンを表示中 - [スクリーンキャプチャー]の[ファイル再生]を実行中 - [チャンネル設定] ➤ [入力設定] ➤ [Multi View]のとき - [ファンクション設定] ➤ [マルチ情報表示]のとき • エラー表示中、[インモニターディスプレイ]は表示されません。 • エラー表示の位置は、[インモニターディスプレイ] ➤ [ポジション]で調整できます。 	
コントロール	オン、 オフ	[シグナルモニタリング]の有効/無効を設定します。
エラーホールド	オン (No time out) オン (5秒) オフ	エラーが検出されたときに表示されるエラー表示の表示時間を設定します。 [オン (No time out)]: エラー表示を出し続けます。表示を消去するときは、OSDメニューを閉じているときにRESETボタンを押します。 [オン (5秒)]: エラー表示後、エラーがない検出結果が出ると、5秒後に表示が消えます。 [オフ]: エラーが検出されている間のみ、表示します。エラーがなくなると、表示は消えます。
無信号/非対応信号	オン 、オフ	[無信号]または[非対応信号]の場合に、エラー表示を出します。
2SI Link Order	オン 、オフ	[2 Sample Interleave]で入力された信号の場合に、入力端子に挿しているケーブルの順番が異なるときにエラー表示を出します。
SDI CRCエラー	オン、 オフ	SDI信号で、誤り(CRCエラー)検出の場合に、エラー表示を出します。
8K 2SI フォーマット	オン、 オフ	SDI信号で、[チャンネル設定] ➤ [入力信号選択] ➤ [オート]のとき、4つの端子の入力信号の状態を監視します。
エクスポート	エラーの履歴をUSBメモリーにエクスポートします。ファイル名は「signal_error_xxx.txt(xxxは数字)」です。	
エラーログ		エラーの履歴を表示します。
スクリーンキャプチャー	画面をキャプチャーします。	
キャプチャー実行		キャプチャーを実行します。USBメモリーのルートフォルダーに「YYYYMMDD_hhmmss.bmp」というファイル名で保存します。
フレームホールド	オン、 オフ	映像を一時停止します。
キャプチャー対象	すべて 映像のみ	キャプチャーする対象を選択します。 [すべて]: マーカーや波形モニターなどの映像補助機能やOSDメニューも含めてキャプチャーします。 [映像のみ]: 映像信号のみキャプチャーします。
HDR/SDR比較ファイル作成	オン、 オフ	HDR/SDR画像の明るさを、PCなどで比較できる画像ファイルを追加で作成します。保存されるファイルのファイル名には「_pc」が付きます。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ファイル再生	ファイル選択 実行	<p>キャプチャーした画像を再生します。</p> <p>[ファイル選択]: ファイルを選択します。 [実行]: 再生を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> キャプチャーした画像を、本機以外で再生すると、正確な色で再生されない場合があります。 [HDR/SDR比較ファイル作成]で作成したファイルは、[ファイル選択]画面には表示されません。
ファイル再生 終了		再生を終了します。
カメラリンク	CINEMA EOS SYSTEMのカメラ、ARRI社製／パナソニック社製シネマカメラと連携する機能を設定します。	
自動画質設定 (CINEMA EOS)	<p>[ピクチャーモード] ➤ [CINEMA EOS SYSTEM]、[入力設定] ➤ [12-3G/HD-SDI]のときカメラの画質設定に連動するかどうかを設定します。</p> <p>オン、オフ</p> <p>[カラーガマット/ガンマ/EOTF]、[色温度]、[カラーレンジ]のすべてを[オン]にした場合の設定値対応表をご参照ください。(62)</p>	
カラーガマット/ ガンマ/EOTF	オン 、オフ	カメラの設定に応じてディスプレイの画質を対応させます。
色温度	オン 、オフ	
表示カラーガマット	ITU-R BT.709 ITU-R BT.2020 DCI-P3	カメラの[Color Space]が[Cinema Gamut]または[DCI-P3+]の場合、ディスプレイで表示する色域を設定します。
自動画質設定(ARRI)	<p>[ピクチャーモード] ➤ [User 6]～[User 7]、[入力設定] ➤ [12-3G/HD-SDI]のときカメラの画質設定に連動するかどうかを設定します。</p> <p>オン、オフ</p> <p>設定値対応表をご参照ください。(63)</p>	
User LUT	Rec2100-PQ-1K-100 Rec2100-HLG-1K-200 3D-LUT 1～8	<p>[自動画質設定(ARRI)] ➤ [オン]のとき</p> <p>ディスプレイで表示する色域とガンマ/EOTFを設定します。</p>
自動画質設定 (VARICAM)	<p>[ピクチャーモード] ➤ [User 6]～[User 7]、[入力設定] ➤ [12-3G/HD-SDI]のときカメラの画質設定に連動するかどうかを設定します。</p> <p>オン、オフ</p> <p>設定値対応表をご参照ください。(63)</p>	
User LUT	V-Log to V-709 3D-LUT 1～8	<p>[自動画質設定(VARICAM)] ➤ [オン]のとき</p> <p>ディスプレイで表示する色域とガンマ/EOTFを設定します。</p>
アナモフィック	オン 、オフ	キヤノン製カメラを本機に接続時、カメラのメタデータにアナモフィックレンズの表示設定が含まれている場合は、設定内容に応じて表示します。[チャンネル設定] ➤ [入力設定] ➤ [12-3G/HD-SDI]のときに実行します。
カメラインフォメーション	オート オン オフ	<p>[チャンネル設定] ➤ [入力設定] ➤ [12-3G/HD-SDI]のとき、カメラ情報の表示を設定します。</p> <p>[オート]: カメラ情報が変化したときに、4秒間自動表示します。 [オン]: 常時カメラ情報を表示します。 [オフ]: カメラ情報を表示しません。</p>

¹ 本機の設定または入力信号の状態によって、表示できる情報表示機能が異なります。

	タイム コード	オーディオ レベル メーター	波形 モニター	ベクトル スコープ	ヒスト グラム	フレーム 輝度 モニター	色度図	ピクセル 値 チェック	マルチ 情報表示
[フレームホールド] ➡ [オン] のとき	—	—	●	●	●	●	●	●	—
[スクリーンキャプチャー]の [ファイル再生]を実行中	—	—	—	—	—	—	—	—	—
[テストパターン]を表示中	—	—	●	●	●	●	●	●	—
[Multi View (Quad)]表示	—	—	—	—	—	—	—	—	—
[Multi View (Dual)]表示	—	—	●	●	—	—	—	—	—
[1入力Dual View]表示中	●	●	●	●	●	●	—	—	—
[ピクチャーファンクション 設定] ➡ [比較表示] ➡ [表 示] ➡ [オン]で、[1入力 Dual View] ➡ [オフ]、か つ解像度が「4096x2160 / 3840x2160」のとき	●	●	—	—	—	—	—	—	—
解像度が「4096x2160 / 3840x2160 / 2048x1080 / 1920x1080」以外の映像を表 示中、または無信号／非対応 信号入力時	●	●	—	—	—	—	—	—	—
[チャンネル設定] ➡ [入力設 定] ➡ [HD/SD-SDI]のとき	●*	●	●	●	●	●	●	●	—
[Image Division] ➡ [Square Division]で信号が4本入力され ていないとき	●	●	—	—	—	—	—	—	—

*SD-SDI時は表示しない

●：表示できる —：表示できない

■ CINEMA EOS SYSTEMとキャノン製ディスプレイの設定値対応表

CINEMA EOS SYSTEM	キャノン製ディスプレイ	
Color Space	カラーガマット	色温度
BT.709	ITU-R BT.709	D65
BT.2020	ITU-R BT.2020	D65
DCI-P3	DCI-P3	DCI-P3
Cinema Gamut	Cinema Gamut to 709	D65
	Cinema Gamut to 2020	D65
	Cinema Gamut to DCI	DCI-P3

CINEMA EOS SYSTEM	キャノン製ディスプレイ	
ガンマ/EOTF	ガンマ/EOTF	HDRレンジ
Canon Log	Canon Log (HDR)	—
Canon Log 2	Canon Log 2 (HDR)	
Canon Log 3	Canon Log 3 (HDR)	
ST 2084、PQ	SMPTE ST 2084 (PQ)	1000
Hybrid Log-Gamma	Hybrid Log-Gamma	
Normal (BT.709)	2.4	—
EOS Std.		
Wide DR		
DCI-P3	2.6	

■ARRI社製シネマカメラとキャノン製ディスプレイの設定値対応表

ARRI社製シネマカメラ	キャノン製ディスプレイ				
Color Space	表示カラー ガンマット	CDL/ User LUT	カラー ガンマット	ガンマ/EOTF	HDRレンジ
REC 709	—	—	ITU-R BT.709	2.2	—
REC 2020	—	—	ITU-R BT.2020	2.2	—
Wide Gamut Log C	Rec2100-PQ- 1K-100	ARRI (Rec2100- PQ-1K-100)	ITU-R BT.2020	SMPTE ST 2084 (PQ)	1000
	Rec2100-HLG- 1K-200	ARRI (Rec2100- HLG-1K-200)	ITU-R BT.2020	Hybrid Log-Gamma	—
	3D-LUT 1～8	User LUT 1～8	—	—	—

■パナソニック社製シネマカメラとキャノン製ディスプレイの設定値対応表

パナソニック社製 シネマカメラ	キャノン製ディスプレイ				
Color Space	表示カラーガ マット	CDL/User LUT	カラー ガンマット	ガンマ/EOTF	HDRレンジ
V-709	—	—	ITU-R BT.709	2.2	—
V-Log	V-Log to V-709	VARICAM (V-Log to V-709)	ITU-R BT.709	2.2	—
	3D-LUT 1～8	User LUT 1～8	—	—	—

ピクチャーファンクション設定

映像補助機能などを設定するときに使うメニューです。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ピーキング ¹	輪郭を着色して表示し、フォーカスの確認などに使用します。ピーキングをカスタマイズして、ピーキング1、2に設定します。	
表示	ピーキング1 ピーキング2 オフ	ピーキングの表示モードと非表示を切り換えます。
モノクロ	[ピーキング1]のとき オン 、オフ [ピーキング2]のとき オン、 オフ	映像をモノクロ表示にします。
周波数	[ピーキング1]のとき 低、 中 、高 [ピーキング2]のとき 低、中、 高	輪郭強調信号の中心周波数を設定します。
レンジ	-3 ～ 3(0)	着色する帯域の幅を設定します。
カラー	ホワイト、 レッド 、 グリーン、ブルー、 イエロー、シアン、 マゼンタ	着色の色を設定します。
フォルスカラー ¹	映像の輝度レベルごとに異なる色で表示し、露出状態や輝度の分布が確認しやすくなります。フォルスカラーをカスタマイズして、フォルスカラー1、2に設定します。	
表示	フォルスカラー1 フォルスカラー2 オフ	フォルスカラーの表示モードと非表示を切り換えます。
タイプ	オート IRE	着色する色の表示方法を設定します。 [オート]: [ガンマ/EOTF]の設定内容に応じて設定します。 • [IRE]を選択時、[レンジ - SDR]と[レンジ - HDR]の設定は無効になります。
レンジ - SDR	[フォルスカラー1]のとき オン、 オフ [フォルスカラー2]のとき オン、 オフ	SDR領域内を着色するかどうかを設定します。 [オン]のときに、着色する領域の範囲を設定します。(10 ～ 100:5刻み、100 ～ 200:10刻み) モノクロ／茶色: 10 ～ 190 (40) 茶色／モノクロ: 20 ～ 200 (85)

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
レンジ - HDR	<p>[フォスカラー1]のとき オート オート(オーバーレンジ) マニュアル [フォスカラー2]のとき オート オート(オーバーレンジ) マニュアル</p>	<p>着色する色の範囲を設定します。</p> <p>[オート]: [ガンマ/EOTF]の設定内容に応じて、自動的に上限値を設定します。</p> <p>[マニュアル]または[オート(オーバーレンジ)]のときに、着色する色の範囲を設定します。</p>
レンジチェック ¹	映像をモノクロで表示し、着色する色の範囲を設定します。レンジチェックをカスタマイズして、レンジチェック1、2に設定します。	
表示	<p>レンジチェック1 レンジチェック2 オフ</p>	レンジチェックの表示モードと非表示を切り換えます。
オーバーレンジ	<p>オート マニュアル</p>	<p>映像をモノクロで表示し、設定した範囲を超える部分を着色して表示します。</p> <p>[オート]: [カラーレンジ]の設定値の範囲外を着色します。[ガンマ/EOTF] ➡ [SMPTE ST 2084 (PQ)]または[Hybrid Log-Gamma]のときは、[カラーレンジ]と[HDRレンジ]の設定値の範囲外を着色します。</p> <p>[マニュアル]: [SMPTE ST 2084 (PQ)]または[Hybrid Log-Gamma]で設定した範囲の超えた部分のみを着色します。</p>
SMPTE ST 2084 (PQ)	100 ~ 10000(1000)	[オーバーレンジ] ➡ [マニュアル]のとき 着色する色の範囲を設定します。(100 ~ 1000: 10刻み、1000 ~ 4000: 100刻み、4000 ~ 10000: 1000刻み)
Hybrid Log-Gamma	100 ~ 1000(1000)	[オーバーレンジ] ➡ [マニュアル]のとき 着色する色の範囲を設定します。(10刻み)
Other	512 ~ 1023(940)	[オーバーレンジ] ➡ [マニュアル]のとき 着色する色の範囲を設定します。(1刻み)
2020 色域外表示 ¹	[ピクチャーモード]または[カラーガマット] ➡ [ITU-R BT.2020]のとき 映像をモノクロで表示し、選択したカラーガマットを超える色域の部分を赤色で表示します。	
表示	オン、 オフ	[2020 色域外表示]の表示/非表示を切り換えます。
カラーガマット	ITU-R BT.709 Native	色域外とする[カラーガマット]を設定します。
レンジ	0 ~ 512(0)	<p>暗部を着色するときの範囲を設定します。(1刻み)</p> <p>0: 暗部すべてに着色します。</p> <p>512: 設定値以下の暗部には着色しません。</p>

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
モノクロ ²	オン、 オフ	モノクロで表示します。
ブルーオンリー ²	オン、 オフ	赤と緑信号をカットし、青信号のみをモノクロで表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • [CDL/User LUT] ➡ [CDL 1-8]または[オフ]以外を選択時、[ブルーオンリー]は設定できません。
レッドオフ ²	オン、 オフ	赤信号をカットして表示します。
グリーンオフ ²	オン、 オフ	緑信号をカットして表示します。
ブルーオフ ²	オン、 オフ	青信号をカットして表示します。
比較表示 ¹	画質の設定が異なる画像を左右2画面で表示して比較することができます。(左右画面の[ピクチャーモード]が同じとき) <ul style="list-style-type: none"> • 解像度が2K以下の信号を1画面表示しているときは、[1入力Dual View]表示になります。 • [2020コンスタントルミナンス]が[コンスタント]のときと、[フォーマット]の信号方式がICtCpまたはXYZのときは、設定できません。 	
表示	オン、 オフ	比較モードでの表示／非表示を設定します。
タイプ	オート HDR/SDR CDL/User LUT	比較する画像のタイプを設定します。 [オート]: [画質設定] ➡ [CDL/User LUT]が[オフ]のときは[HDR/SDR]、それ以外の場合は[CDL/User LUT]の設定になります。 [HDR/SDR]: HDRとSDRの画像を表示します。 [CDL/User LUT]: 左画面のみ、[CDL]または[User LUT]を適用した画像を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 次のいずれかの場合は設定できません。 <ul style="list-style-type: none"> - [カラーガマット]が[Cinema Gamut to XXX]、[S-GamutXXX]のいずれかのとき - [ガンマ/EOTF]が[Canon Log]、[Canon Log 2]、[Canon Log 3]のいずれかのとき
HDR/SDR 変換方式	2020 HDR to 709 SDR 2020 HDR to 2020 SDR User LUT 1 ~ User LUT 8 オフ	[タイプ] ➡ [HDR/SDR]または[オート([HDR/SDR]の設定)]のとき SDRに設定された画面の表示方法を設定します。 [2020 HDR to 709 SDR]、[2020 HDR to 2020 SDR]: [ガンマ/EOTF]の設定値に応じて、設定が異なります。 [SMPTE ST 2084 (PQ)]: 各設定に対応した[User LUT]を適用します。 [Hybrid Log-Gamma]: 各設定に対応した[User LUT]を適用します。 [Canon Log(HDR)]、[Canon Log 2(HDR)]、 [Canon Log 3(HDR)]: [Canon Log]、[Canon Log 2]または[Canon Log 3]を適用します。 [S-Log2 (HDR)]、[S-Log3 (HDR)]: [HDRレンジ]の設定値[100]を設定します。 [User LUT 1 ~8]: 指定した[User LUT]を適用します。[User LUT]を適用後、ディスプレイ内部の画質設定は、[カラーガマット]は[ITU-R BT.709]、[ガンマ/EOTF]は[2.4]固定になります。 [オフ]: 輝度のみを下げます。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ルミナンス (SDR)	50.0 ~200.0 (100.0)	[タイプ] ➤ [HDR/SDR]または[オート([HDR/SDR]の設定)]のとき SDR側のルミナンスを設定します。
色温度 (SDR)	ノーマル 、 D93、D65、 D65 Custom、 DCI-P3	[タイプ] ➤ [HDR/SDR]または[オート([HDR/SDR]の設定)]のとき SDR側の色温度を設定します。
ゲイン (SDR)	-15 ~15 (0)	[タイプ] ➤ [HDR/SDR]または[オート([HDR/SDR]の設定)]のとき SDR側のゲインを設定します。
User LUT 比較対象 1 比較対象 2 (Quad) 比較対象 3 (Quad)	User LUT 1 ~ User LUT 8、 オフ	[タイプ] ➤ [CDL/User LUT]または[オート([User LUT]の設定)]のとき 比較対象を設定します。 [比較対象2 (Quad)]、[比較対象3 (Quad)]：[Multi View (Quad)]表示時、1/4画面ごとにUser LUTが適用され、比較表示します。

- ¹ • [ピーキング]、[フォルスカラー]、[レンジチェック]、[2020色域外表示]、[比較表示]：本機の設定状態による動作について

	ピーキング	フォルスカラー	レンジチェック	2020色域外表示	比較表示
[モノクロ]、[ブルーオンリー]、[レッドオフ]、[グリーンオフ]または[ブルーオフ] ➤ [オン]のとき	—	—	—	—	—
[ピクチャーモード] ➤ [タイプ]が[Quad]または[Dual]のとき	—	—	—	—	—
[マルチ情報表示] ➤ [オン]のとき	●	●	●	●	—
[スクリーンキャプチャー]の[ファイル再生]を実行中	—	—	●	●	●
[入力設定] ➤ [HD/SD-SDI]のとき	●	●	●	●	—

●：表示／設定できる —：表示／設定できない

- [ピーキング]、[フォルスカラー]、[レンジチェック]、[2020色域外表示]、[比較表示]は、同時に表示できません。
- ² • 電源を入れ直した場合、[オフ]になります。
- [ピーキング]、[フォルスカラー]、[レンジチェック]、[2020色域外表示]または[比較表示] ➤ [表示] ➤ [オン] ([オフ]以外)のときは、設定できません。

ネットワーク/IMD設定

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
LAN	本機のネットワークの設定をします。 • [パワーオン設定]が[User 1]～[User 3]の場合は設定できません。	
IPアドレス取得	自動 手動	[自動]: DHCP/Auto IPにより自動で取得します。 [手動]: IPアドレスとサブネットマスクを手動で設定します。
ディスプレイ	192.168.0.1	
サブネットマスク	255.255.255.0	
Web	Webブラウザーを使って本機をリモート操作します。(18)	
コントロール	オン、 オフ	ネットワークに接続した機器のWebブラウザーから、本機をリモートで操作するときに、外部機器からの制御信号を受け付けるかどうかを設定します。
ユーザー ID	ユーザー IDを入力します。半角英数字記号16文字以内で設定します。ユーザー IDの初期値は[user]です。	
パスワード	パスワードを入力します。半角英数字記号8文字以上、16文字以内で設定します。パスワードの初期値はシリアルNoです。シリアルNo.は、ご使用の製品に個別に割り当てられている12桁の数値で、[システムインフォメーション]画面で確認できます。	
ディスプレイ設定連動	画質設定、チャンネル 画質設定/チャンネル、 オフ	LAN接続したディスプレイ間での設定値の連動を行います。本機の設定値が、連動先のディスプレイに反映されます。 ※設定連動を行う前に、以下のことを確認してください。 ①本機および連動対象機器の電源を入れ、各機器がネットワーク上で認識されていることを確認する ②画質設定またはチャンネルを変更して連動することを確認する 連動できる機種とファームウェアのバージョンは、次のとおりです。 DP-V1830 : Version 1.1以上 DP-V2730 : Version 1.0以上 未接続になったディスプレイはRESETボタンで消去できます。 • 本機の操作ボタンによる設定値の変更に連動します。Payload ID、HDMI、カメラなどによるリンク動作では、設定連動は正しく動作しません。 • 設定内容や設定範囲が異なる機能がある機種の場合、正しく連動しない設定があります(設定が変更されない、初期設定になる、など)。 • ネットワーク環境が不安定であったり、帯域が不足しているなど、正しく通信が行えない環境では、設定連動が動作しない場合があります。LANIには制御対象ディスプレイのみを接続してください。ディスプレイコントローラーを接続した場合は、正しく動作しないことがあります。 • 連動元ディスプレイの設定が[ピクチャーモード] ➡ [タイプ] ➡ [Quad]または[Dual]の場合は、動作しません。 • 設定連動は、最大3台まで動作します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
インモニターディスプレイ(IMD)	本機は、Television Systems Ltd社の「TSL UMD Protocol Ver. 5.0」に対応しています。LAN端子に接続した外部機器から操作して、画面上に文字とタリーを表示できます。本機から直接、任意の文字を入力することもできます(17)。 [ファンクション設定] ➤ [マルチ情報表示] ➤ [オン] のときは表示されません。	
コントロール	TSL Ver. 5.00 マニュアル オフ	接続機器からの制御信号を受け付けるかどうかを設定します。 [マニュアル]：本機で文字を入力するときに選択します。接続機器からの制御信号は受け付けません。
ポジション	上 下	文字とタリーの表示位置を、画面の上部または下部に設定します。
マニュアル表示種別	オート Single Dual A,B、Dual C,D Quad A,B,C,D	[オート]：入力設定に応じて、表示を変更します。 [Single]：1画面表示します。 [Dual A,B]、[Dual C,D]：2画面に表示します。 [Quad A,B,C,D]：4画面に表示します。 • [ファンクション設定] ➤ [シグナルモニタリング] ➤ [コントロール] ➤ [オン]のときは、マニュアル表示種別は[オート]固定です。
マニュアル表示名	(Single) (Dual/Quad A) (Dual/Quad B) (Dual/Quad C) (Dual/Quad D) (1入力Dual L) (1入力Dual R)	[コントロール] ➤ [マニュアル]のとき 選択した[マニュアル表示名]に、表示する文字を設定します。入力できる文字は英数字記号(半角)で、16文字までです。

システム設定

本機のシステムに関する設定をするときに使うメニューです。

70

サブメニュー		設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ファンクション／チャンネルボタン		FボタンやCHボタンに登録する機能やチャンネルを設定します。	
ファンクションボタン		本機のFボタンに登録する機能を設定します(13)。Fボタンを選択して、リストから機能を登録します(74)。	
ファンクションボタン(ALT)			
チャンネルボタン		ディスプレイのCHボタンに登録するチャンネルを設定します。	
CH1		CH1 ～ CH20 (CH1)	CHボタンを選択して、チャンネル番号を登録します。リストは[チャンネル設定] (36)で設定されている内容が表示されます。
CH2		CH1 ～ CH20 (CH2)	
CH3		CH1 ～ CH20 (CH3)	
GPI		GPI端子に接続したスイッチャーなどの外部機器から、本機を操作できます。GND(No.8ピン)をNo.1 ～7に接続(ショート)することで動作します。 ● 次の場合、正しく機能が動作しません。 - 複数のPinに同じ機能を登録したとき - 本メニュー項目や各ピンに登録した機能の設定内容の変更を、各ピンをショートさせた状態で行ったとき	
タイプ		レベル 、 ショートエッジ	[レベル]：ショートしている間、動作します。 [ショートエッジ]：ショートするたびに、動作する／しないを切り換えます。
Pin1 ～ Pin7		各GPIのピンに機能を登録します。(16) 登録できる機能： ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、Adobe RGB、DCI-P3、User 1(2020 PQ)、User 2(2020 HLG)、User 3(DCI PQ)、User 4(DCI PQ D65)、User 5 ～ User 9、CINEMA EOS SYSTEM、ACESproxy (ver. 1.0.1)、CH1 ～ CH5、CH1-CH2*、CH2-CH3*、CH1-CH3*、チャンネルアップ*、チャンネルダウン*、マーカー1～マーカー3、タイムコード、オーディオレベルメーター、波形モニター、ベクトルスコープ、ヒストグラム、フレーム輝度モニター、色度図、フォルスカラー1/2、モノクロ、ブルーオンリー、レッドオフ、グリーンオフ、ブルーオフ、比較表示、クロマアップ*、MENU、タリー グリーン、タリー レッド、電源オン、－(未設定) * V2730 のみ ● [タリー]について タリーは、画面上部に表示されます。[タリー グリーン] [タリー レッド]を組み合わせると、[タリー アンバー]になります。 ● [電源オン]：[Pin7]にのみ、登録できます。	
言語		English 日本語 簡体中文	OSDやメッセージの表示言語を設定します。
日時			年／月／日／時／分を設定します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
ディスプレイ名	本機の名前を設定します。入力できる文字は英数字記号(半角)で、16文字までです。	
OSD設定		
バナー	チャンネル名や信号情報、本機の状態を表示するバナーの表示方法を設定します。	
オート表示	オン、オフ	入力信号やピクチャーモードが変更したときに、自動的にバナーを表示します。
ピクチャーモード	オン、オフ	[ピクチャーモード]の表示／非表示を設定します。
タイムアウト	オン、オフ	バナーを自動で消去します。
ファンクションボタンガイド	オン、オフ	[オン]: OSD非表示中にジョグダイヤルを操作すると、本機のFボタンに登録されている機能の一覧を表示します。 [オフ]: ファンクションボタンガイドを表示しません。
OSD明るさ	オート(明-中) オート(明-暗) 明 中 暗	OSDの明るさを設定します。 [オート]では、ルミナンスに応じて、自動的に明るさを調整します。調整範囲([明-暗]または[明-中])を選択できます。
設定プロテクト	設定内容を変更できないようにします。MENUボタンを押した場合[シグナル／システムインフォメーション]は表示しますが、それ以外は操作できないためグレー表示になります。	
パスワード		プロテクトをする場合のパスワードを設定します。数字4桁(0000～9999)です。パスワードの初期値は未設定です。
プロテクト対象		ピクチャーモードとセレクトチャンネルは、プロテクト設定の対象からはずすことができます。
ピクチャーモード	オン、オフ	[オン]にすると、[ピクチャーモード]の設定内容をプロテクトします。
セレクトチャンネル	オン、オフ	[オン]にすると、[セレクトチャンネル]の設定内容をプロテクトします。
ファンクション設定	オン、オフ	[オン]にすると、[ファンクション設定]と[ピクチャーファンクション設定]の設定内容をプロテクトします。
プロテクト		プロテクトするときは[OK]を選択します。パスワード設定時はパスワードを入力後、[OK]を選択します。 ※設定プロテクトの解除のしかた [プロテクト]にフォーカスを移動させ、ジョグダイヤルを約3秒長押しします。パスワード設定時はパスワードを入力後、[OK]を選択します。
パワーセーブ	120分、60分、 30分 、オフ	映像信号が入力されていないとき、自動的に本機の電源を切ります。選択した時間の間、無信号の状態が続くと、[無信号です。パワーセーブ機能により、電源オフします。]が表示されます。約5分後に[無信号です。電源オフします。]が表示されて電源が切れます。[オフ]にすると自動的に電源を切りません。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
電源ランプ／本体ボタンLED設定		
電源ランプ 明るさ	オフ 1 ～ 5 (3)	本機の電源ランプの明るさを調整します。数字が大きくなるほど明るくなります。
本体ボタン 点灯設定	オン 、オフ	Fボタンと文字盤のランプを設定します。
本体ボタン名 点灯時間	常時点灯、 60秒 、30秒、10秒、5秒	何も操作しないときに、文字盤のランプが消灯するまで時間(秒)を設定します。 [常時点灯]：文字盤のランプが常時点灯します。
ファームウェア/ライセンスアップデート	ファームウェアをアップデートするときに使用します。詳細は、キヤノンのホームページでご確認ください。	
エクスポート／インポート ¹	OSDメニューのエクスポート／インポートの設定をします。	
エクスポート		
ターゲット	USB User 1 ～ User 3 LAN	エクスポート先を選択します。 [USB]：USBメモリーにエクスポートします。 [User 1]～[User 3]：本体内のメモリーにエクスポートします。 [LAN]：LAN接続したディスプレイにエクスポートします。
ファイル名		[ターゲット] ➡ [USB]のとき 工場出荷時の初期値は「dinfo_dpv****.dat」（****：製品名の数字）です。USBメモリーにエクスポートするファイル名は半角英数記号16文字以内で変更できます。
実行		エクスポートを実行します。
インポート		
ターゲット	USB User 1 ～ User 3	インポートするファイルの保存先を指定します。
ファイル名		拡張子(.dat)のファイルを表示し、選択します。
設定種別	すべて 画質設定 チャンネル設定 ディスプレイ設定 オーディオ設定 マーカー設定 ファンクション/ネットワーク/システム	インポートする設定を選択します。
実行		インポートを実行します。

サブメニュー	設定内容(太字：工場出荷時の設定内容)	
パワーオン設定	ラストメモリー User 1 ～ User 3	電源投入後のディスプレイの設定状態を選択できます。 [ラストメモリー]：前回電源を切ったときの設定で起動します。 [User 1]～[User 3]：[エクスポート]で[User 1]～[User 3]に保存した設定で起動します。
全設定リセット	OK キャンセル	すべての設定を工場出荷時に戻します。選択すると[すべての設定を工場出荷時の設定に戻しますか?]というメッセージが表示されます。 [OK]：リセットを実行します。 [キャンセル]：リセットを実行せずに、1つ前の画面に戻ります。

- ¹ • 次の設定内容はエクスポート／インポートされません。

画質設定	CDL/User LUTバイパス
ディスプレイ設定	ズームプリセット、フレームホールド
オーディオ設定	消音
ファンクション設定	テストパターン
ピクチャーファンクション設定	ピーキング(表示)、フォルスカラー(表示)、レンジチェック(表示)、2020 色域外表示(表示)、モノクロ、ブルーオンリー、レッドオフ、グリーンオフ、ブルーオフ、比較表示(表示)
ネットワーク/IDM設定	LAN、ディスプレイ設定連動 (LAN：ネットワーク経由のエクスポート／インポートのみ)
システム設定	日時、エクスポート／インポート、パワーオン設定

- User LUTのデータは、[ターゲット]の[User 1]～[User 3]にはエクスポート／インポートされません。
- 本機と他の機種との間では、メインメニューのインポート／エクスポートはできない場合があります。

■ ディスプレイのFボタンに登録できる機能(70)

項目	機能
画質設定	ピクチャーモード
	ルミナンス
	ブライトネス
	クロマ
	クロマアップ ¹
	バックライトコントロール
	HDRレンジ
	ゲイン
	バイアス
	xy
ピクチャーモード	ITU-R BT.709
	ITU-R BT.2020
	Adobe RGB
	DCI-P3
	User 1 (2020 PQ)
	User 2 (2020 HLG)
	User 3 (DCI PQ)
	User 4 (DCI PQ D65)
	User 5 ~ User 9
	CINEMA EOS SYSTEM
CDL/User LUT	ACESproxy (ver. 1.0.1)
	CDL/User LUT
	CDL RGB
	CDL R
	CDL G
	CDL B
	CDL SOP/SAT
	CDL Slope
	CDL Offset
	CDL Power
	CDL Saturation
	CDL/User LUTバイパス
	CDLエクスポート／インポート

項目	機能
チャンネル設定	チャンネルリスト
	入力信号選択
	音声端子
	1入力 Dual View
	スイッチアウト (SDI Input A) ~ スwitchアウト (SDI Input D) ²
ディスプレイ設定	CH1 ~ CH20
	スクリーンスケールリング
	アナモフィック
	ズームプリセット
	ズーム 1
オーディオ設定	ズーム 2
	ズーム 3
	フレームホールド
	CH L
	CH R
マーカー設定 ³	音量
	消音
	マーカープリセット
	マーカー 1
	マーカー 2
	マーカー 3
	マーカー 4
	マーカー 5

項目	機能
ファンクション設定	TC/ALM
	タイムコード
	オーディオレベルメーター
	WFM/VEC
	波形モニター
	波形モニター信号選択
	ベクトルスコープ
	ヒストグラム／フレーム輝度
	ヒストグラム
	フレーム輝度モニター
	色度図／ピクセル値チェック
	色度図
	ピクセル値チェック
	マルチ情報表示
	シグナルモニタリング ログ
	キャプチャー
	カメラインフォメーション
ピクチャー ファンクション設定	ピーキング
	ピーキング1
	ピーキング2
	フォルスカラー
	フォルスカラー1
	フォルスカラー2
	レンジチェック
	レンジチェック1
	レンジチェック2
	2020 色域外表示
	モノクロ
	ブルーオンリー
	レッドオフ
	グリーンオフ
	ブルーオフ
	比較表示
システム設定	シグナルインフォメーション
	OSD一時消去 ⁴

¹ クロマの値を2000に設定します。

V2730 [オフ]にすると[クロマ]で設定した値に戻ります。

² 有償アップグレードの機能です。

³ Fボタンで[マーカ―]関連の設定を切り換えると、現在選択されている[マーカ―プリセット]の[表示]に反映されます。

⁴ [OSD一時消去]は、すべてのOSDを非表示にする機能です。[オン]を選択すると、OSDと[セパレーター]が非表示となりますが、メニューの操作はできます。

シグナルインフォメーション

信号の情報を表示します。[入力信号選択]が[Quad Input]のときは、信号全体と各入力の情報が表示できます。メニュー右上のガイドに従ってジョグダイヤルで選択してください。画面に表示されていなくても信号情報が取得されている場合には、その内容をグレースアウト表示します。

SDI信号		HDMI信号	
項目	表示例	項目	表示例
チャンネル	CH1	チャンネル	CH4
入力設定	12-3G/HD-SDI (3G-A)	入力設定	HDMI
入力信号選択	Quad Input	フォーマット	オート
Image Division	オート	解像度	4096x2160
フォーマット	オート	Picture Rate, I/P/PsF	60.00P
解像度	4096x2160	Pixel Encoding, Color Depth	4:2:2 YCbCr 10-bit
Picture Rate, I/P/PsF*	24.00P	Matrix	ITU-R BT.709
SDI Payload ID	89 C3 46 01	Range	フル
Video Standard	3G-SDI	EOTF	SMPTE ST 2084 (PQ)
Sampling Structure, Bit Depth	4:4:4:4 GBRA 10-bit	Max Luminance (Peak/Avg.)	1000 / 500 cd/m ²
Picture Rate	24.00	Display Luminance (Max/Min)	1000 - 0.005 cd/m ²
Scanning Method	Progressive/Progressive (Transport/Picture)	White Point	x=0.313, y=0.329
Link Number	Single/Link_1	Primary Color Red	x=0.640, y=0.330
Colorimetry	UHD	Primary Color Green	x=0.300, y=0.600
Transfer Characteristics	SDR-TV	Primary Color Blue	x=0.150, y=0.060

* グレースアウト表示しているときに、[24.00P *]のように[Picture Rate]の精度が低いことを示す[*]が表示される場合があります。

システムインフォメーション

本機のステータスやネットワーク情報を表示します。

項目	表示例
ディスプレイ	DP-V1830
シリアルNo.	0000000000000
ファームウェア/ライセンスVer.	1.1
使用時間*	5 h
IPアドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
MACアドレス	FF:FF:FF:FF:FF:FF

* 工場出荷時の検査などにより、購入時の使用時間は[0]ではない場合があります。

対応信号フォーマット

SDI

77

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
SD-SDI	720x487i 59.94 Hz*	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE-259M
	720x576i 50 Hz			
HD-SDI	1280x720P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 292-1 SMPTE 296
	1280x720P 50.00 Hz			
	1280x720P 29.97/30.00 Hz			
	1280x720P 25.00 Hz			
	1280x720P 23.98/24.00 Hz			
	1920x1080i 59.94/60.00 Hz			SMPTE 292-1 SMPTE 274M
	1920x1080i 50.00 Hz			
	1920x1080P 29.97/30.00 Hz			
	1920x1080PsF 29.97/30.00 Hz			
	1920x1080P 25.00 Hz			
	1920x1080PsF 25.00 Hz			
	1920x1080P 23.98/24.00 Hz			
	1920x1080PsF 23.98/24.00 Hz			
	2048x1080P 29.97/30.00 Hz			SMPTE 292-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 29.97/30.00 Hz			
	2048x1080P 25.00 Hz			
	2048x1080PsF 25.00 Hz			
	2048x1080P 23.98/24.00 Hz			
	2048x1080PsF 23.98/24.00 Hz			
3G-SDI (Level A)	1280x720P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 296
	1280x720P 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	
	1280x720P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	
	1280x720P 25.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	
	1280x720P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	10-bit	
	1920x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M

* 水平487ライン目は表示されませんが、故障ではありません。

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI (Level A)	1920x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	1920x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	2048x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	2048x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI (Level A)	2048x1080P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
	2048x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格	
3G-SDI (Level B)	1920x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 274M	
	1920x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit		
		4:2:2 YCbCr	12-bit		
		1920x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr		10-bit
	1920x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit		
		4:2:2 YCbCr	12-bit		
		1920x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr		12-bit/10-bit
	4:2:2 YCbCr		12-bit		
	1920x1080PsF 29.97/30.00 Hz		4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr		12-bit/10-bit
		4:2:2 YCbCr	12-bit		
		1920x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr		12-bit/10-bit
	4:2:2 YCbCr		12-bit		
	1920x1080PsF 25.00 Hz		4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr		12-bit/10-bit
		4:2:2 YCbCr	12-bit		
		1920x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr		12-bit/10-bit
	4:2:2 YCbCr		12-bit		
	1920x1080PsF 23.98/24.00 Hz		4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr		12-bit/10-bit
		4:2:2 YCbCr	12-bit		
		2048x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr		10-bit
	2048x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit		SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit		SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI (Level B)	2048x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI (Level B)	2048x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
Dual Link 3G-SDI 2 Sample Interleave (Level B)	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-3
	3840x2160P 25.00 Hz			SMPTE 372
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz			SMPTE 274M
	4096x2160P 29.97/30.00 Hz			SMPTE 425-3
	4096x2160P 25.00 Hz			SMPTE 372
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz			SMPTE 2048-2
Quad Link HD-SDI	3840x2160i 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 292-1
	3840x2160i 50.00 Hz			SMPTE 274M
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz			
	3840x2160PsF 29.97/30.00 Hz			
	3840x2160P 25.00 Hz			
	3840x2160PsF 25.00 Hz			
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz			
	3840x2160PsF 23.98/24.00 Hz			
	4096x2160P 29.97/30.00 Hz			SMPTE 292-1
	4096x2160PsF 29.97/30.00 Hz			SMPTE 428-9
	4096x2160P 25.00 Hz			SMPTE 428-19
	4096x2160PsF 25.00 Hz			SMPTE 2048-2
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz			
	4096x2160PsF 23.98/24.00 Hz			

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level A)	3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1
	3840x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 274M
	3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 274M
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit	
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 274M
	4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level A)	4096x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI 2 Sample Interleave (Level A)	3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-5
	3840x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 274M
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-5
	4096x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 428-9
	4096x2160P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 428-19
	4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 2048-2
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	
Quad Link 3G-SDI (Level B)	3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1
	3840x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 372 SMPTE 274M
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level B)	3840x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 274M
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	4096x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	4096x2160P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Quad Link 3G-SDI (Level B)	4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格	
Quad Link 3G-SDI (Level B)	4096x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit		
		4:2:2 YCbCr	12-bit		
Quad Link 3G-SDI 2 Sample Interleave (Level B)	3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-5 SMPTE 372 SMPTE 274M	
	3840x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit		
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
		4:4:4 YCbCr	12-bit		
	3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
		4:4:4 YCbCr	12-bit		
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
		4:4:4 YCbCr	12-bit		
	4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-5 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
	4096x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit		
	4096x2160P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit		
	4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
		4:4:4 YCbCr	12-bit		
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit			
		4:2:2 YCbCr			
	4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
		4:4:4 YCbCr	12-bit		
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit			
		4:2:2 YCbCr			
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
		4:4:4 YCbCr	12-bit		
	6G-SDI	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 2081-10
		3840x2160P 25.00 Hz			
		3840x2160P 23.98/24.00 Hz			
		4096x2160P 25.00 Hz			
		4096x2160P 23.98/24.00 Hz			

伝送方式	信号フォーマット		カラーフォーマット	カラーデプス	規格
Dual Link 6G-SDI 2 Sample Interleave	3840x2160P	59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 2081-11
	3840x2160P	50.00 Hz			
12G-SDI	3840x2160P	29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 2082-10
			4:4:4 YCbCr		
	3840x2160P	25.00 Hz	4:2:2 YCbCr	12-bit	
			4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
	3840x2160P	25.00 Hz	4:4:4 YCbCr		
			4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P	23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
			4:4:4 YCbCr		
	3840x2160P	23.98/24.00 Hz	4:2:2 YCbCr	12-bit	
			4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
	4096x2160P	25.00 Hz	4:4:4 YCbCr		
			4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
	4096x2160P	25.00 Hz	4:2:2 YCbCr		
			4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
	4096x2160P	23.98/24.00 Hz	4:4:4 YCbCr		
			4:2:2 YCbCr	12-bit	
3840x2160P	59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit		
				3840x2160P	50.00 Hz
4096x2160P	47.95/48.00 Hz				
4096x2160P	59.94/60.00 Hz				
4096x2160P	50.00 Hz				

HDMI

信号フォーマット	カラーフォーマット/カラーデプス
640x480P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 8-bit
800x600P 60.00 Hz	
1024x768P 60.00 Hz	
720x480P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 12-bit/10-bit/8-bit
720x576P 50.00 Hz	4:4:4 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
1280x720P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr 12-bit
1280x720P 50.00 Hz	
1920x1080P 59.94/60.00 Hz	
1920x1080i 59.94/60.00 Hz	
1920x1080P 50.00 Hz	
1920x1080i 50.00 Hz	
1920x1080P 29.97/30.00 Hz	
1920x1080P 25.00 Hz	
1920x1080P 23.98/24.00 Hz	
2048x1080P 59.94/60.00 Hz	
2048x1080P 50.00 Hz	
2048x1080P 29.97/30.00 Hz	
2048x1080P 25.00 Hz	
2048x1080P 23.98/24.00 Hz	
3840x2160P 59.94/60.00 Hz	
3840x2160P 50.00 Hz	
3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 12-bit/10-bit/8-bit
3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:2:2 YCbCr 12-bit
4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 8-bit
4096x2160P 50.00 Hz	
	4:4:4 YCbCr 8-bit
	4:2:2 YCbCr 12-bit
	4:2:0 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 12-bit/10-bit/8-bit
4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 YCbCr 12-bit/10-bit/8-bit
4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:2:2 YCbCr 12-bit

SDI

信号システム			表示のしかた	
720×487	59.94	i	59.94	P
720×576	50.00	i	50.00	P
1280x720	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
1920x1080	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
2048x1080	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	47.95/48.00	P	47.95/48.00	P
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P

信号システム			表示のしかた	
3840x2160	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
4096x2160	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	47.95/48.00	P	47.95/48.00	P
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P

* フレーム2度描き

HDMI

信号システム			表示のしかた	
640x480	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
800x600	60.00	P	60.00	P
720x480	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
720x576	50.00	P	50.00	P
1024x768	60.00	P	60.00	P
1280x720	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
1280x720	50.00	P	50.00	P
1920x1080	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
1920x1080	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
1920x1080	50.00	P	50.00	P
1920x1080	50.00	i	50.00	P
1920x1080	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
1920x1080	25.00	P	50.00	P*
1920x1080	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
2048x1080	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
2048x1080	50.00	P	50.00	P
2048x1080	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
2048x1080	25.00	P	50.00	P*
2048x1080	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
3840x2160	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
3840x2160	50.00	P	50.00	P
3840x2160	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
3840x2160	25.00	P	50.00	P*
3840x2160	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
4096x2160	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
4096x2160	50.00	P	50.00	P
4096x2160	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
4096x2160	25.00	P	50.00	P*
4096x2160	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*

* フレーム2度描き

エラーメッセージ


94

	メッセージ	説明と対処法
ネットワーク	通信エラーが発生しました。	IPアドレスが重複している、またはネットワーク通信異常などの可能性があります。ネットワーク環境をご確認ください。
	IPアドレスが不正です。	正しいIPアドレスを入力してください。
	サブネットマスクが不正です。	正しいサブネットマスクを入力してください。
各種設定、CDLのエクスポート	USBメモリーの空き容量が不足しています。	別のUSBメモリーを接続するか、メモリー内の情報を削除してください。
	ファイルの書き込みに失敗しました。	USBメモリーに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーをご確認ください。
LUT、各種設定、CDLのインポート	(LUTインポート時)異なるLUTタイプのファイルです。 (CDLインポート時)異なるファイル形式です。	正しいファイル形式を選択してください。
	ファイルの読み込みに失敗しました。	USBメモリーに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーをご確認ください。
	インポートに失敗しました。	インポートするファイルに異常があります。ファイルをご確認ください。
	インポートファイルがありません。	USBメモリー、または[User 1]～[User 3]にインポートファイルが入っているかをご確認ください。
スクリーンキャプチャー	キャプチャーに失敗しました。	USBメモリーに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーをご確認ください。
	無効な映像信号です。	無信号や、非対応の信号が入力されているなど、映像が表示されていない画面をキャプチャーしています。信号を確認後に再入力し、キャプチャーしてください。
	コピープロテクトされています。	キャプチャーしようとした信号は、HDMIのコピー保護規格HDCP 2.2でプロテクトされている可能性があります。この場合、キャプチャーはできません。HDMI信号をご確認ください。
	キャプチャーファイルの再生に失敗しました。	USBメモリーまたはファイルに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーまたはファイルをご確認ください。
	キャプチャーファイルがありません。	USBメモリーにキャプチャーファイルが入っているかをご確認ください。

メッセージ		説明と対処法
ハードウェア	バックライトの異常を検出しました。	電源コードをいったん抜いてから再度接続し、電源を入れてください。 それでもこのメッセージが表示される場合には、お客様相談センターにご相談ください。
	ファンの異常を検出しました。	
	パネルの異常を検出しました。	
	I/F部の異常を検出しました。	
	オーディオI/F部の異常を検出しました。	
	システムエラーを検出しました。	
入力信号	無信号	映像信号が入力されていないときに表示されます。
	非対応信号	非対応の映像信号が入力されています。対応信号フォーマット(□77)をご確認ください。
操作	操作は無効です。	操作ができません。各設定項目をご確認ください。
	プロテクト設定中です。	OSDメニューを操作する場合には、[プロテクト]にフォーカスを移動させ、ジョグダイヤルを約3秒長押ししてください。
	CDL/User LUTバイパス設定中です。	[CDL/User LUT] ➡ [バイパス]が[オン]のときは、[Power]、[Saturation]、[Offset]、[Slope]の調整はできません。
	パスワードが不正です。	正しいパスワードを入力してください。
	ライセンスがありません。	ライセンスファイルが適用されていないため、本機能を使用できません。詳細は、キヤノンのホームページでご確認ください。
USBメモリー	USBメモリーが接続されていません。	USBメモリーを本機のUSB端子に正しく接続してください。
	非対応USBメモリーです。	USBメモリーのフォーマット種別やセキュリティがかかっていないかをご確認ください。
ファームウェアのアップデート	アップデートファイルがありません。	ファームウェアのアップデートファイルがUSBメモリーなどに保存されていません。
	アップデートファイルの読み込みに失敗しました。	ファイルに異常があります。ファイルをご確認ください。
	ファームウェア/ライセンスはアップデート済みです。	本機でのアップデートが適用されているファイルです。

メッセージ		説明と対処法
V1830 DC電源	DC入力電圧が低下しています。	バッテリーをご使用の場合、バッテリーの残量が少なくなっています。 その他の電源をご使用の場合は、DC電源の入力電圧をご確認ください。
	DC入力電圧が低下しています。電源オフします。	DC電源の入力電圧が動作できない状態まで低下したため、電源を切りました。 バッテリーをご使用の場合、残量がなくなっている可能性があります。充電されたバッテリーを接続し、本機の電源を入れてください。 その他の電源をご使用の場合は、DC電源の入力電圧をご確認ください。
	DC入力電圧が異常です。電源オフします。	DC電源の入力電圧が動作可能範囲を超えたため、電源を切りました。DC電源の入力電圧をご確認ください。
パワーセーブ	無信号です。パワーセーブ機能により、電源オフします。	[パワーセーブ]の設定時間の間、無信号の状態が続いたことを示します。約5分後に電源が切れます。入力信号をご確認ください。
	無信号です。電源オフします。	無信号の状態が続いたため、約5分後に本機の電源が切れることを示します。入力信号をご確認ください。

症状	原因と対処	97
電源が入らない (電源ランプが点灯しない)	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ボタンを押してください。 ● 電源コードが正しく接続されていることをご確認ください。 ● [電源ランプ 明るさ]が[オフ]になっている可能性があります。[オフ]以外に設定してご確認ください。 	72
画面が表示されない	<p>電源ランプが点灯しない場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源ボタンを押してください。 ● 電源コードが正しく接続されていることをご確認ください。 <p>電源ランプが橙色に点灯している場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源ボタンを押してください。 <p>電源ランプが橙色に点滅している場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 点滅が3秒間に1回のとき：お客様相談センターにご相談ください。 ● 点滅が3秒間に2回のとき： <ul style="list-style-type: none"> - 電源ボタンで電源を入れてください。 - 使用環境によっては、本体の温度が予想以上に高く(低く)なる場合があります。環境条件をご確認ください。 また、直射日光が当たらないようにしてください。 - それでも電源が入らない場合は、お客様相談センターにご相談ください。 	—
無信号の状態で電源が切れた	[パワーセーブ]が[オフ]以外の場合、映像信号が入力されない状態が続くと、自動的に本機の電源を切ります。電源を入れ直してください。	—
V1830 DC電源使用時に電源が急に切れる	<ul style="list-style-type: none"> ● ご使用のDC電源の機種によっては、しきい値になると出力電圧が急激に低下したり、出力電圧を「0」にすることがあります。その場合、入力電圧の低下を示すメッセージは表示時間が短くなる、または表示されません。充電されたDC電源またはAC電源を接続してください。 	—
希望の画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● 入力信号に合わせて、[チャンネル設定]の各項目を適切に設定してください。 	36
Quad Input/Dual Inputのときに、表示されないエリアがある	<ul style="list-style-type: none"> ● 信号が入力されていない可能性があります。信号をご確認ください。 ● 非対応の組み合わせがあります。信号をご確認ください。 	37 76
V2730 映像が遅れて見える	[バックライトフラッシュ低減]の設定が[オン]の場合、シーンによっては、映像が遅れて見えることがあります。その場合は、[オフ]にしてください。	29
画面が明るすぎる／暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> ● OSDメニューの[ルミナンス]を調整してください。 ● 液晶ディスプレイのバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになった場合には、お客様相談センターにご相談ください。 	21

症状	原因と対処	
焼き付きが現れる	<ul style="list-style-type: none"> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することを極力避けることをお勧めします。 インターレース信号を表示して焼き付きが発生したときは、[チャンネル設定] ➡ [I/P変換] ➡ [ノーマル]を試してください。 	43
画面に点灯しないドットがある、または赤、青、緑、白のドットがある	<ul style="list-style-type: none"> 液晶ディスプレイは、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。 	—
画面上に干渉縞が見られる／液晶パネルを押したあとが消えない	<ul style="list-style-type: none"> 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してください。症状が解消されることがあります。 	—
OSDメニューが操作できない	<ul style="list-style-type: none"> [設定プロテクト]が設定されていないことをご確認ください。 	71
[アスペクトマーカー]、[セーフティゾーンマーカー]、または[エリアマーカー]が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 無信号、非対応信号、または[入力設定]が設定されていないチャンネルを選択している可能性があります。信号をご確認ください。 	76
[設定プロテクト]のパスワードを忘れた	<ul style="list-style-type: none"> 本機がスタンバイ状態のとき、ジョグダイヤルと\odotボタンを押してください。パスワードが未設定状態にリセットされます。 	—
電源を入れたとき、前回電源を切ったときの状態で起動しない	<ul style="list-style-type: none"> OSDメニューの[パワーオン設定]をご確認ください。[ラストメモリー]に設定すると、前回電源を切ったときの状態で起動します。 	73
[ピクチャーモード]のUserモードの画質がプリセットの画質と異なる	<ul style="list-style-type: none"> [ピクチャーモードコピー]でプリセットモードを選択し、設定内容をコピーしてください。 	30
画質が自動で変更される	<ul style="list-style-type: none"> [チャンネル設定] ➡ [ピクチャーモード]の設定をご確認ください。 	8 39
同一の映像が2画面に表示される	<ul style="list-style-type: none"> [チャンネル設定] ➡ [1入力 Dual View]の設定をご確認ください。 	40

本機で使用しているソフトウェアについて

本機に組み込まれているソフトウェアには、当社または第三者のソフトウェアモジュールが含まれています。

99

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約条項およびその他の準拠法によって保護されています。

また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアモジュールを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License v2 および v3 (以下、GPL)、GNU Lesser General Public License v2.1 (以下、LGPL) またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアモジュールが含まれています。

本機に組み込まれているフリーソフトウェアモジュール

- | | | | |
|--------------------------|------------------------|------------------|--------------------|
| • Libupnp | • libxml2 | • libpng | • lz4 |
| • zlib | • FreeRTOS | • u-boot-xlnx | • attr |
| • avahi | • base-files | • base-passwd | • bridge-utils |
| • busybox | • eudev | • exfat-utils | • fuse |
| • fuse-exfat | • gcc-runtime | • glibc | • init-ifupdown |
| • initscripts | • kernel-module-vcu | • kmod | • libdaemon |
| • libgcc | • libomxil-xlnx | • libpam | • libxcrypt |
| • linux-xlnx | • modutils-initscripts | • netbase | • opkg-utils |
| • packagegroup-core-boot | | • shadow | • shadow-securetty |
| • sysvinit | • sysvinit-inittab | • udev-extraconf | • update-rc.d |
| • util-linux | • vcu-firmware | | |

フリーソフトウェアのソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアモジュールを配布する条件として、そのモジュールのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびにGPL、LGPL、およびその他のライセンス契約の確認方法については、製品をお買い上げいただいた販売会社にお問い合わせください。

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務

本機に組み込まれているソフトウェアモジュールには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そのライセンス表示を、以下に提示します。

■libupnp License

Copyright (c) 2000-2003 Intel Corporation All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

100

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■libxml2 License

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

■lz4

LZ4 Library

Copyright (c) 2011-2016, Yann Collet

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■FreeRTOS

Copyright (C) 2017 Amazon.com, Inc. or its affiliates. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software. If you wish to use our Amazon FreeRTOS name, please do so in a fair use way that does not cause confusion.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■packagegroup-core-boot, shadow-securetty, udev-extraconf

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE

■shadow

Copyright (c) The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

番号

1入力Dual View	40
2 Sample Interleave	37
200%(スクリーンスケール)	41
2020 ガマットマッピング	29
2020 コンスタントルミナンス	29
2020 色域外表示	65

A

ACESproxy	21
Adobe RGB	21
ALTモード	13
AUDIO OUT端子	44

C

Canon Log、Canon Log 2、Canon Log 3	23
CDL/User LUT	26
CDLエクスポート/インポート	11
CINEMA EOS SYSTEM(ピクチャーモード)	21

D

DCI-P3	21
DC電源 V1830	96
Dual Input	36

G

GPI	16、70
-----	-------

H

HDMI	90、93
HDMIリンク	30
HDRレンジ	24
HLG System Gamma	29
Hybrid Log-Gamma	23

I

Image Division	37
I/PsF	43
I/P変換	43
ITU-R BT.709	21

ITU-R BT.1886	23
ITU-R BT.2020	21

L

LAN(ネットワーク/IMD設定)	68
Link Order	37
LTC	52
LUTインポート	9、28
LUTプリセット	10

M

MACアドレス	76
MENUボタン	4
Multi View (Dual/Quad)	37

N

Native Input Resolution(スクリーンスケール)	41
------------------------------------	----

O

Offset	26
OSD明るさ	71
OSD一時消去	75
OSD設定	71
OSDメニュー	4、21
Output Transform	25
Output Transform Surround	25

P

Power	26
PQ	23
PsF	43

Q

Quad Input	36
------------	----

R

RESETボタン	4
----------	---

S

Saturation	26
Screen A ~ D	37
SDI	77、91
Single Input	36
S-Log2 / S-Log3	23
Slope	26
Square Division	37

T

TSLプロトコル	17
----------------	----

U

User 1-9	21
User LUT	26

V

VITC	52
------------	----

W

Web	18、68
-----------	-------

Y

YCbCr カラーマトリクス	28
----------------------	----

ア

アスペクト(SD-SDI)	42
アスペクトマーカー	45
アナモフィック	41、60
アンカーポイント	7
色温度	22
インターレース	43
インモニターディスプレイ	69
映像表示位置(Multi View)	42
エクスポート／インポート	10、72
エクスポート(シグナルモニタリング)	59
エラーメッセージ	94
エリアマーカー	48
オーディオ設定	44
オーディオレベルメーター	52

オーバーレンジ	65
音声端子	38
音量	44

カ

画質設定	21
画質設定アンカー	7、30
画質設定リセット	30
カスタム(xy) (色温度)	22
画像・フレーム表示	91
カメラインフォメーション	60
カメラリンク	60
カラーガマット	23
カラーレンジ	25
カラーレンジ(User LUT)	27
ガンマ/EOTF	23
グリーンオフ	66
グリッドマーカー	49
クロマ	21
ゲインR/G/B	22
言語	70

サ

サブネットマスク	68
色度図	57、58
シグナルインフォメーション	76
シグナルモニタリング	59
システムインフォメーション	76
システム設定	70
自動画質設定(CINEMA EOS / ARRI / VARICAM)	60
詳細設定	
CDL/User LUT	27
画質設定	28
使用時間	76
ジョグダイヤル	4
シリアルNo.	76
信号フォーマット	77
スイッチアウト	38
ズーム	42

スクリーンキャプチャー	59
スクリーンスケールリング	41
スピーカー	44
セーフティゾーンマーカー	46
設定プロテクト	71
セパレーター	40
セレクトチャンネル	36
全設定リセット	73
センターマーカー	49

タ

タイムコード	52
チャンネルオーダー	53
チャンネル設定	36
チャンネルボタン	70
チャンネル名	12、39
ディスプレイ設定	41
ディスプレイ設定連動	68
ディスプレイ名	12、71
テストパターン	58
電源ランプ 明るさ	72
電源ランプ/本体ボタンLED設定	72
トラブルシューティング	97

ナ

日時	11、70
入力信号選択	36
入力設定	36
ネットワーク/IMD設定	68

ハ

バイアスR/G/B	22
バイパス(CDL / User LUT)	26、28
波形モニター	53
パスワード	71
バックライトコントロール	22
バックライトフラッシュ低減 V2730	29
バナー	71
パワーオン設定	73

パワーセーブ	71
ピーキング	64
ピーク輝度	21
比較表示	66
ピクセル値チェック	58
ピクチャーファンクション設定	64
ピクチャーモード	21、39
ピクチャーモードコピー	30
ヒストグラム	55
ファームウェア/ライセンスVer.	76
ファームウェア/ライセンスアップデート	72
ファンクション設定	52
ファンクションボタン	70
ファンクションボタンガイド	71
フォーマット	38
フォルスカラー	64
ブライトネス	21
ブルーオフ	66
ブルーオンリー	66
フレーム輝度モニター	56
フレームホールド	42
ベクトルスコープ	55
本体ボタン 点灯設定	72
本体ボタン名 点灯時間	72

マ

マーカー設定	45
マーカープリセット	45
マルチ情報表示	58
メタデータ	8
モノクロ	66

ラ

ルミナンス	21
レッドオフ	66
レンジチェック	65
ローカルディミング	22

製品の取り扱い方法に関するご相談窓口

キヤノンお客様相談センター

0570-07-0032

平日：9:00～17:00

※土・日・祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。

※上記番号は0570から始まるナビダイヤルを利用しています。

※ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6634-4268 におかけください。

※お客様相談センターでは、製品の受け渡し業務をいたしておりません。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノン 動画ディスプレイホームページ

動画ディスプレイホームページを開設しています。

最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方はぜひお立ち寄りください。

キヤノン 動画ディスプレイ 製品情報 canon.jp/v-display

キヤノン 動画ディスプレイ サポートページ canon.jp/dp-support

■本書の記載内容は、2022年12月現在のものです。

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。最新の情報および説明書については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6